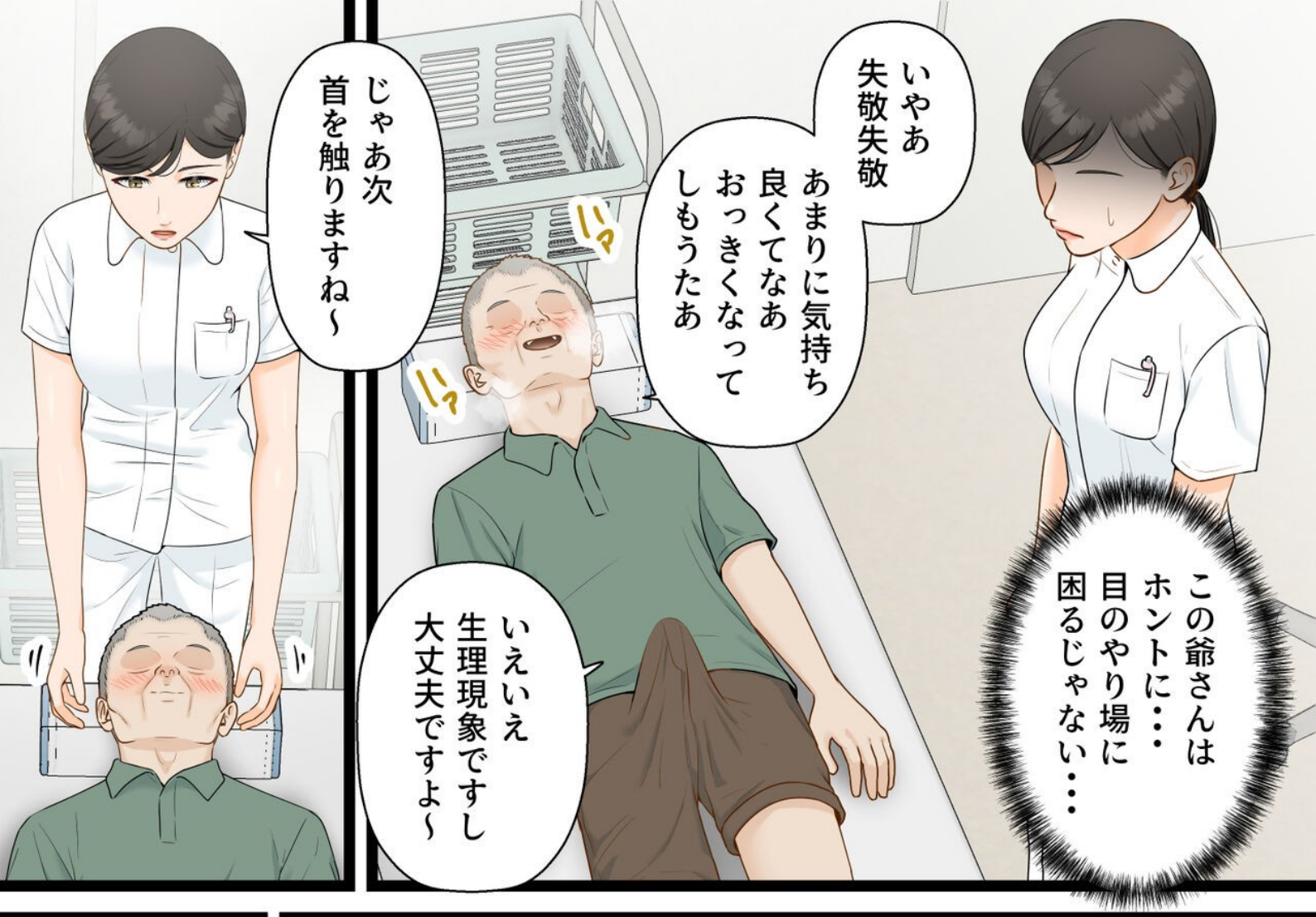

気丈な人妻が
下品なジジイに
寝取られるまで
ELICA


林クリニック
こんにちは
ぬっ
受付
あ
こんにちは・・・
さっきの患者さんの
カルテ頂けますか～？
高原ゆき（35歳・既婚）


アダルトショップ
大人の玩具
DVD・コス
林クリ
上のフロアで
いやらしい
お店経営してる
常連患者さん
なのよね・・・
げっ・・・
またこの
おじいさんか・・・
今日の髪型も
可愛らしいのう
アダルトショップ店長
あはは・・・
ありがとう
ございます
悪い人じゃ
ないんだけど
いちいち発言が
セクハラぽくて
苦手なのよねえ・・・
今日は
どうされましたか？
ちょっと
脚と首の調子が
悪くてなあ
またお呼びしますので
おかけになって
お待ちください
いつも
悪いのう


先生が来るまで
対応させて
いただきますね～
お願い
するよ
まずは脚から
診ていきましょうか
どのあたりが
痛みますか？
ものの
あたりがなぁ
ちょっと
触りますね
ツー
トッ
ツンとっ
おふうっ


もう・・・
変な声出さないでよ
やりづらいなあ・・・
ユキちゃんの手
やわっこくて冷たくて
気持ちええのう・・・
さわ
さわ
分かりましたから・・・
ここら辺ですか？
あ～そうそう
そこらへんじゃあ
大体わかりましたので
次は首を確認しま・・・
!?

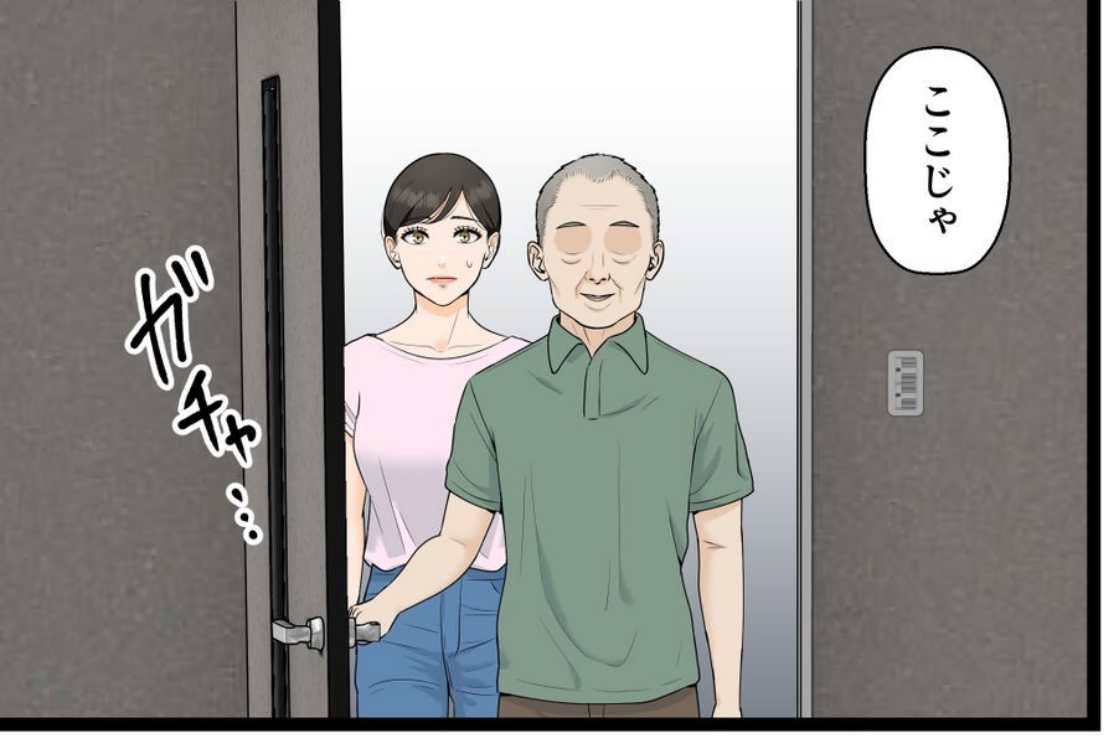

この爺さんは
ホントに…
目のやり場に
困るじゃない…
いやあ
失敬失敬
あまりに気持ち
良くてなあ
おっきくなって
しもうたあ
じゃあ次
首を触りますね～
いえいえ
生理現象ですし
大丈夫ですよ～


うう～
気が散るわね…
なるべく視界に
入らないようにしよう…
ぎゅうう
まったく…なんでこの人は
この歳でこんなに元気なのよ
興奮されてると思うと
こっちも変に意識しちゃうわ…
どうですか
痛いところ…


ぶくぶく
・・・ってわあ!!

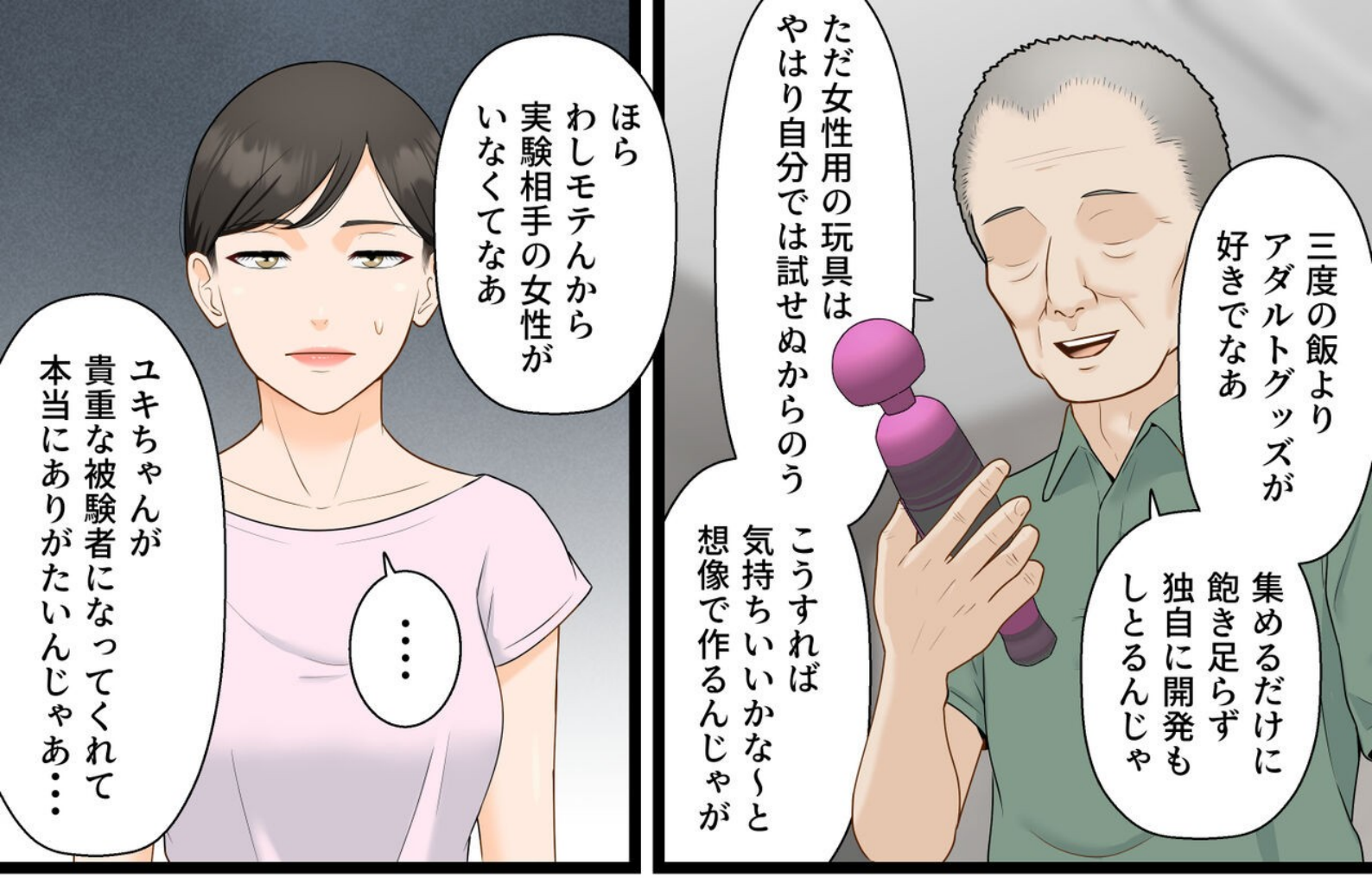

ごめんなさい!!
力入れすぎちゃってました!!
完全に油断してた!
まさか患者さんを
失神させちゃうなんて!!

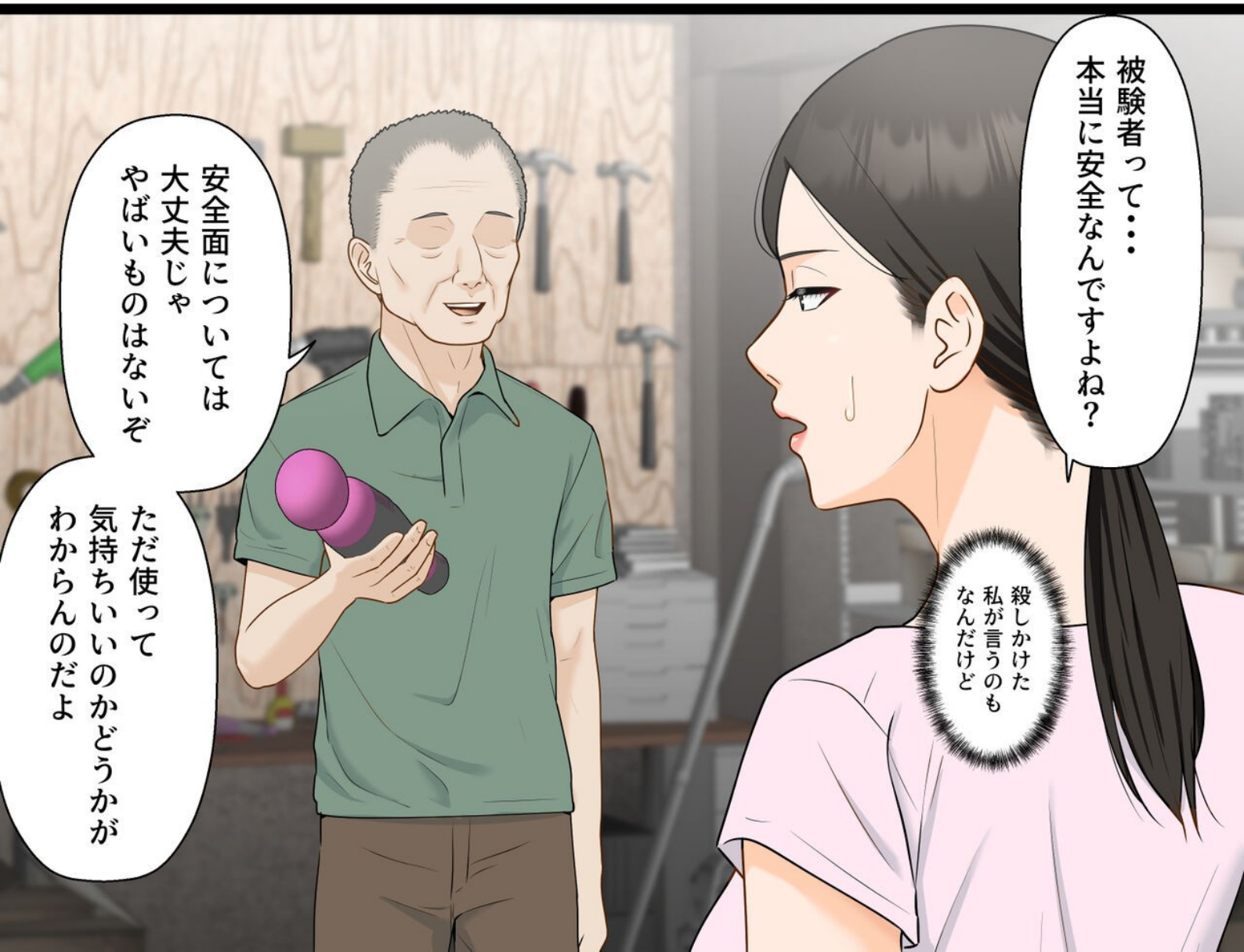

大丈夫ですか!?
ごめんなさい！
なんとお詫び
したらいいか・・・
ああ・・・
なにやら
美しい景色が・・・
さす
メニす
やばい・・・！
触診で失神させたなんて
噂が広まっちゃったら・・・
このままじゃ
先生に迷惑がかかる・・・
もちろん私もクビに・・・
まあ
誰にでもミスはある・・・
今のことは水に流そう・・・
ほ、本当
ですか?!
その代わり
ちと協力して
ほしいことが
あるんじゃが・・・
え・・・

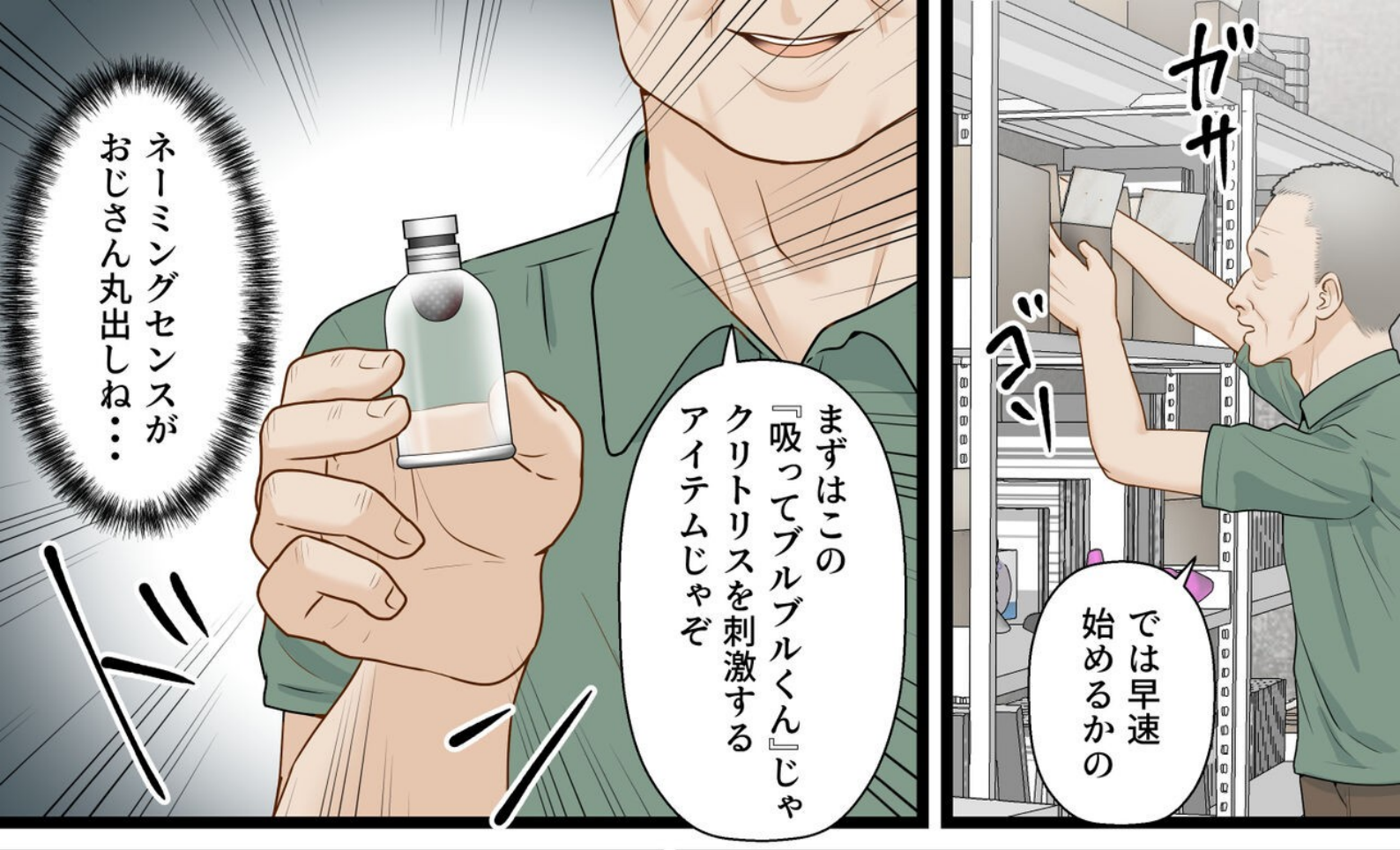

ここじゃ
ガチャ…

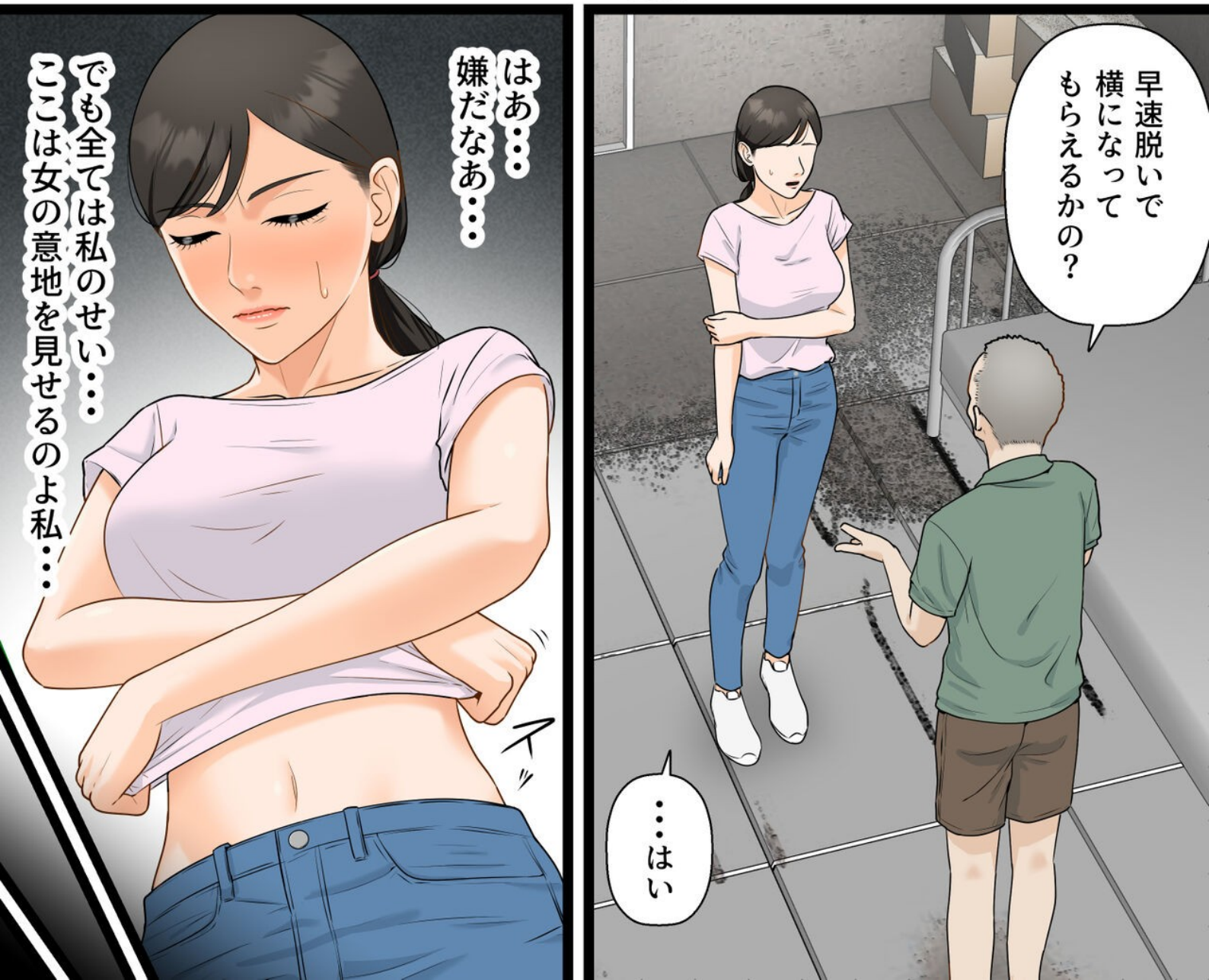

アダルトショップ
大人の玩具 DVD・コス
林 クリ


アダルトショップ奥
玩具開発部屋

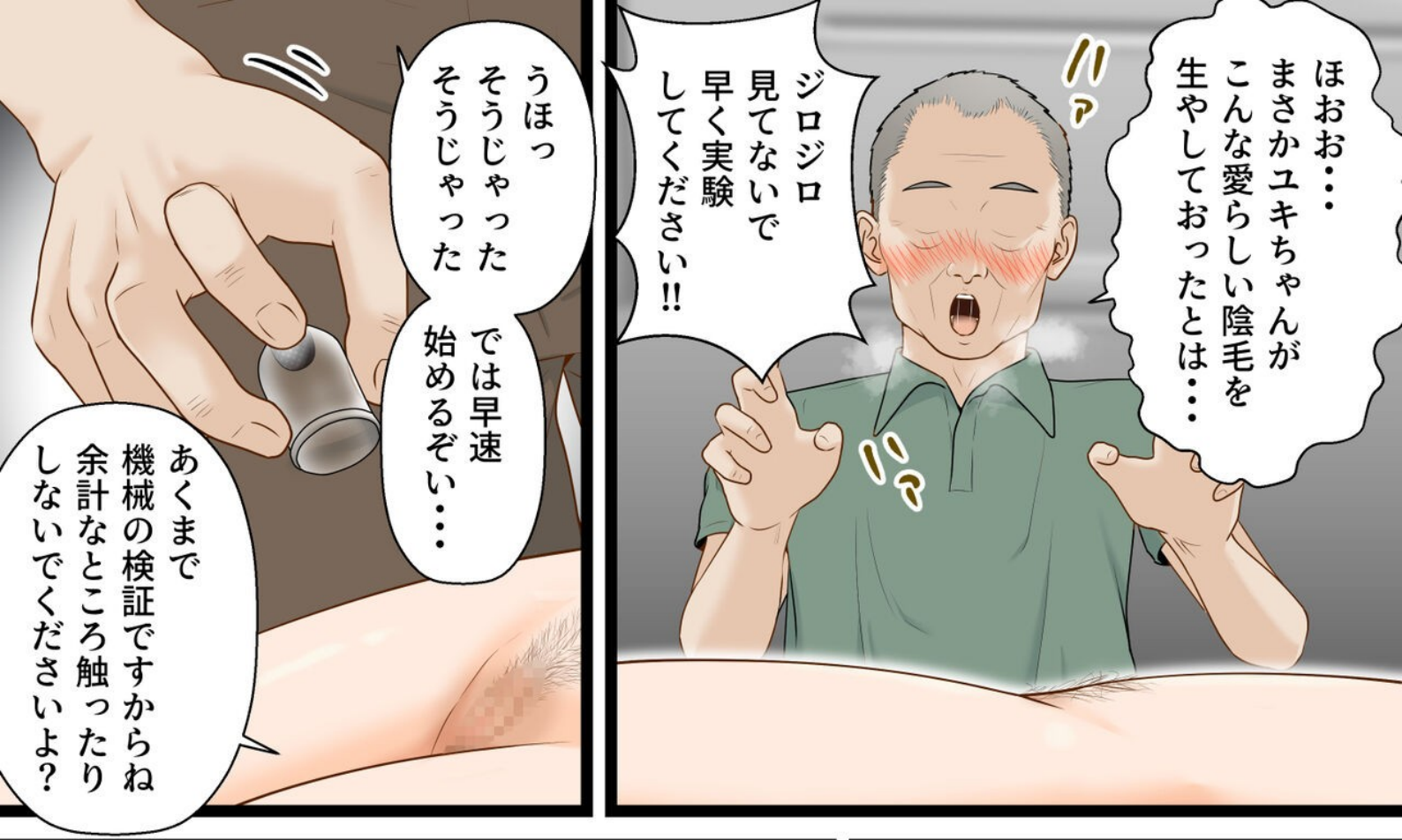

三度の飯より
アダルトグッズが
好きでなあ
集めるだけに
飽き足らず
独自に開発も
しとるんじゃ
ただ女性用の玩具は
やはり自分では試せぬからのう
こうすれば
気持ちいいかな～と
想像で作るんじゃが
ほら
わしモテんから
実験相手の女性が
いなくてなあ
・・・
ユキちゃんが
貴重な被験者になってくれて
本当にありがたいんじゃあ・・・

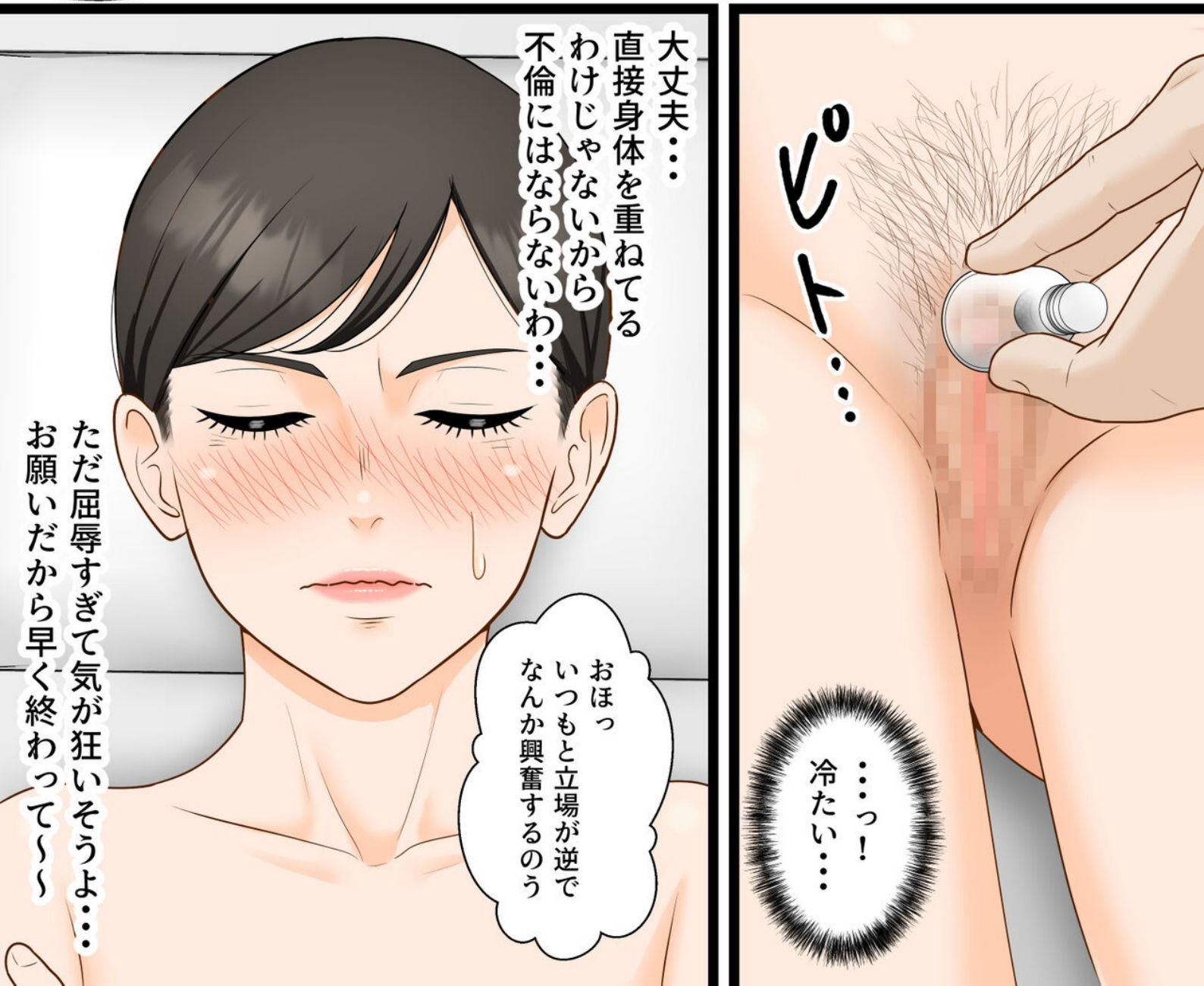

被験者って・・・
本当に安全なんですよね？
殺しかけた
私が言うのも
なんだけど
安全面については
大丈夫じゃ
やばいものはないぞ
ただ使って
気持ちいいのかどうかが
わからんのだよ


では早速
始めるかの
ガサ
ゴソ
まずはこの
『吸ってブルブルくん』じゃ
クリトリスを刺激する
アイテムじゃぞ
ネーミングセンスが
おじさん丸出しね・・・

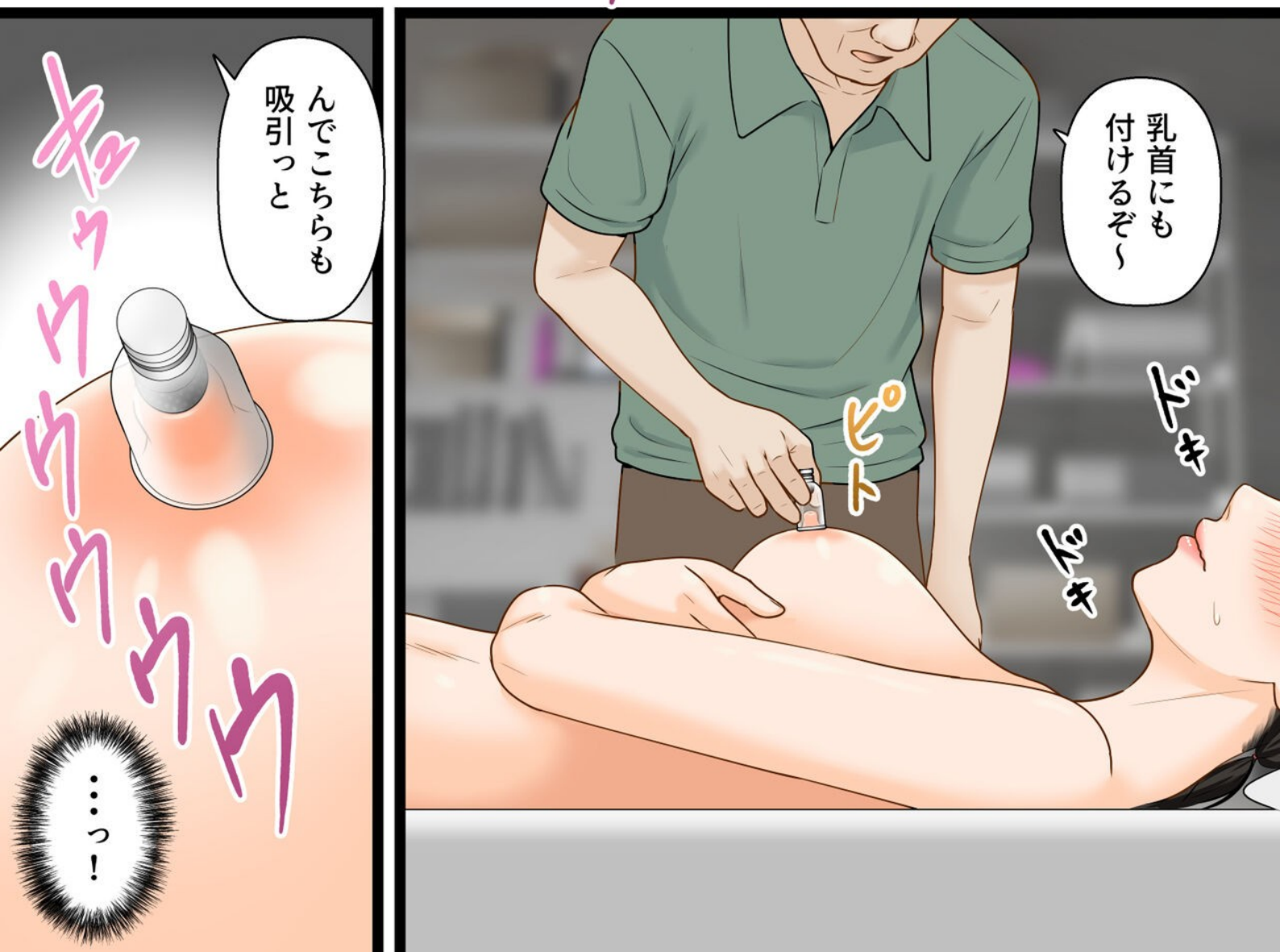

早速脱いで
横になって
もらえるかの？
・・・はい
はあ・・・
嫌だなあ・・・
でも全ては私のせい・・・
ここは女の意地を見せるのよ私・・・


うう・・
なんなのこの
シュールな状況は・・・
まさかあの
セクハラじいさんに
私の恥部を晒す日が
来るなんて・・・


ほおお…
まさかユキちゃんが
こんな愛らしい陰毛を
生やしておったとは…
ハァ
ハァ
ジロジロ
見てないで
早く実験
してください!!
うほっ
そうじゃった
そうじゃった
では早速
始めるぞい…
あくまで
機械の検証ですからね
余計なところ触ったり
しないでくださいよ?


ピト…
…っ!
冷たい…
大丈夫…
直接身体を重ねてる
わけじゃないから
不倫にはならないわ…
おほっ
いつもと立場が逆で
なんか興奮するのう
ただ屈辱すぎて気が狂いそうよ…
お願いだから早く終わって~~


では
吸引していくぞ
カチ
スイッチ
オン！
やっ・・・！
なんか引っ張ら
れてる・・・！
キュウウウウウ
うう・・・
慣れない感覚・・・


乳首にも
付けるぞ～
ピト
ドキ
ドキ
んでこちらも
吸引っと
キュウウウウウ
・・・っ！


こんな姿 家族には絶対見せられないわね・・・
ビクッ
すごいぞ！膨張しとるぞい！
うそ 乳首ってこんなに膨らむの!?


ではいよいよ振動させるぞう
問題はここからね・・・
まあこんなエロ爺さんが妄想で作った玩具なんてたかが知れてるけど・・・
振動オン！
ブゥゥゥ
ドキ


ウゴゴ
ココココ!!!!


これは意外と…
長時間やれたら…
ちょっとまずいかも…?

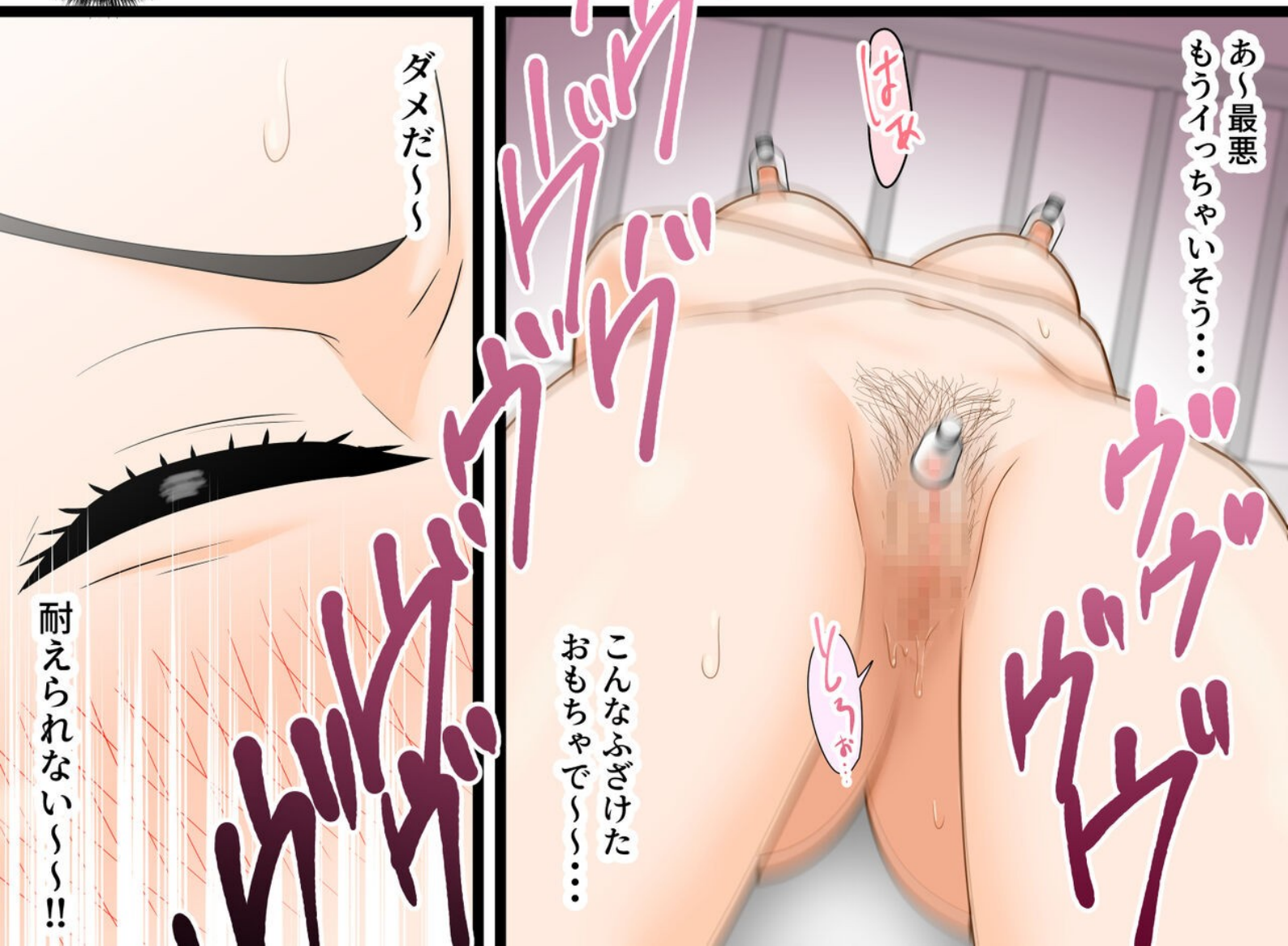

何これ…っ
ウヴ〜…
吸引されてるからか
普通に刺激されるよりも
こそばゆくて…っ

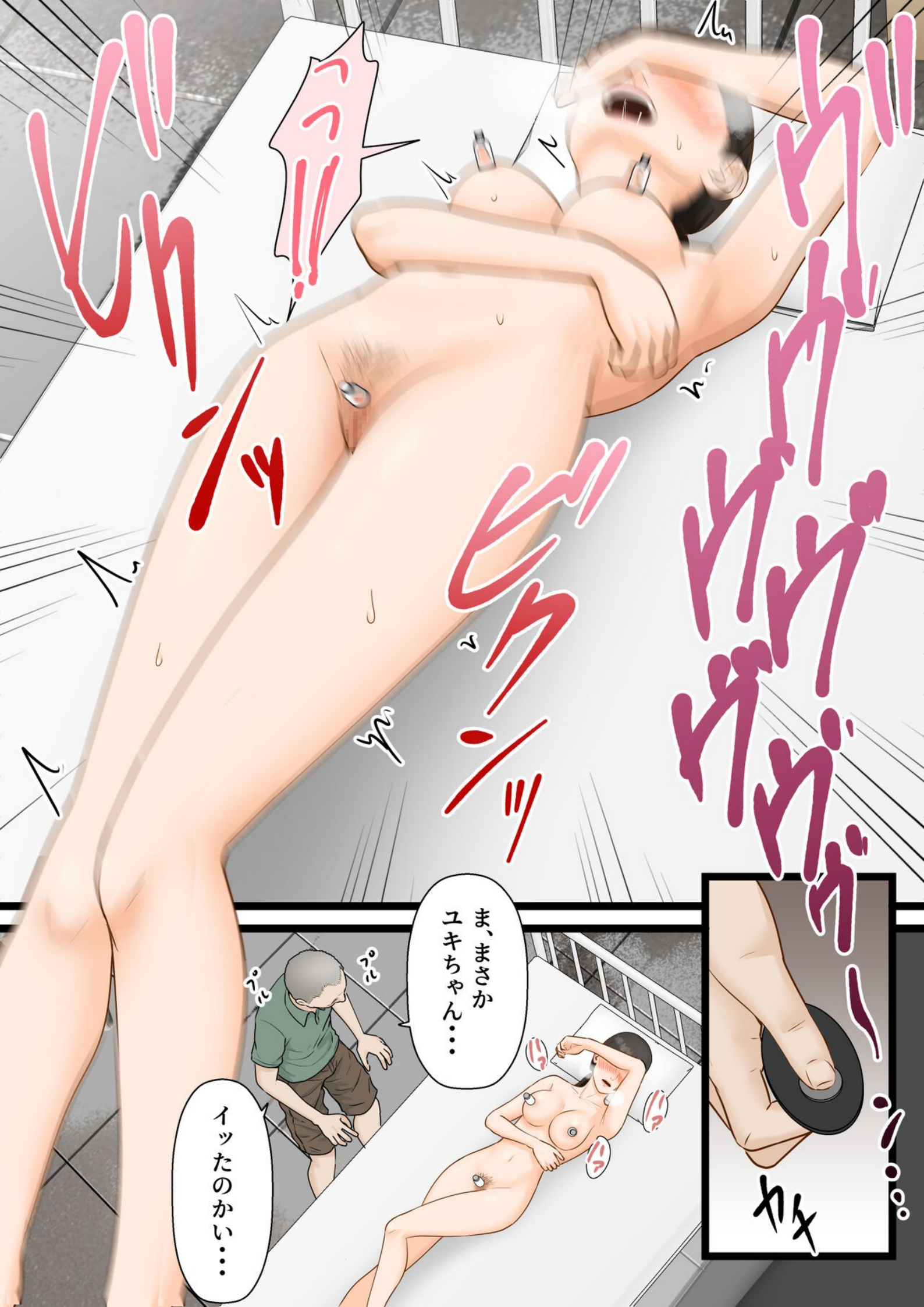

どうじゃ!?
気持ちええか!?
なんか悔しいから
気持ちいいなんて
絶対言いたくない！
ヴヴー
いや・・・
あんまり・・・
ヴヴー
万が一にでも
イっちゃう前に
早く終わって～！
ヴヴー
そうかあ・・・
残念じゃのう
よし もう終わりね
なんとか耐えた～！

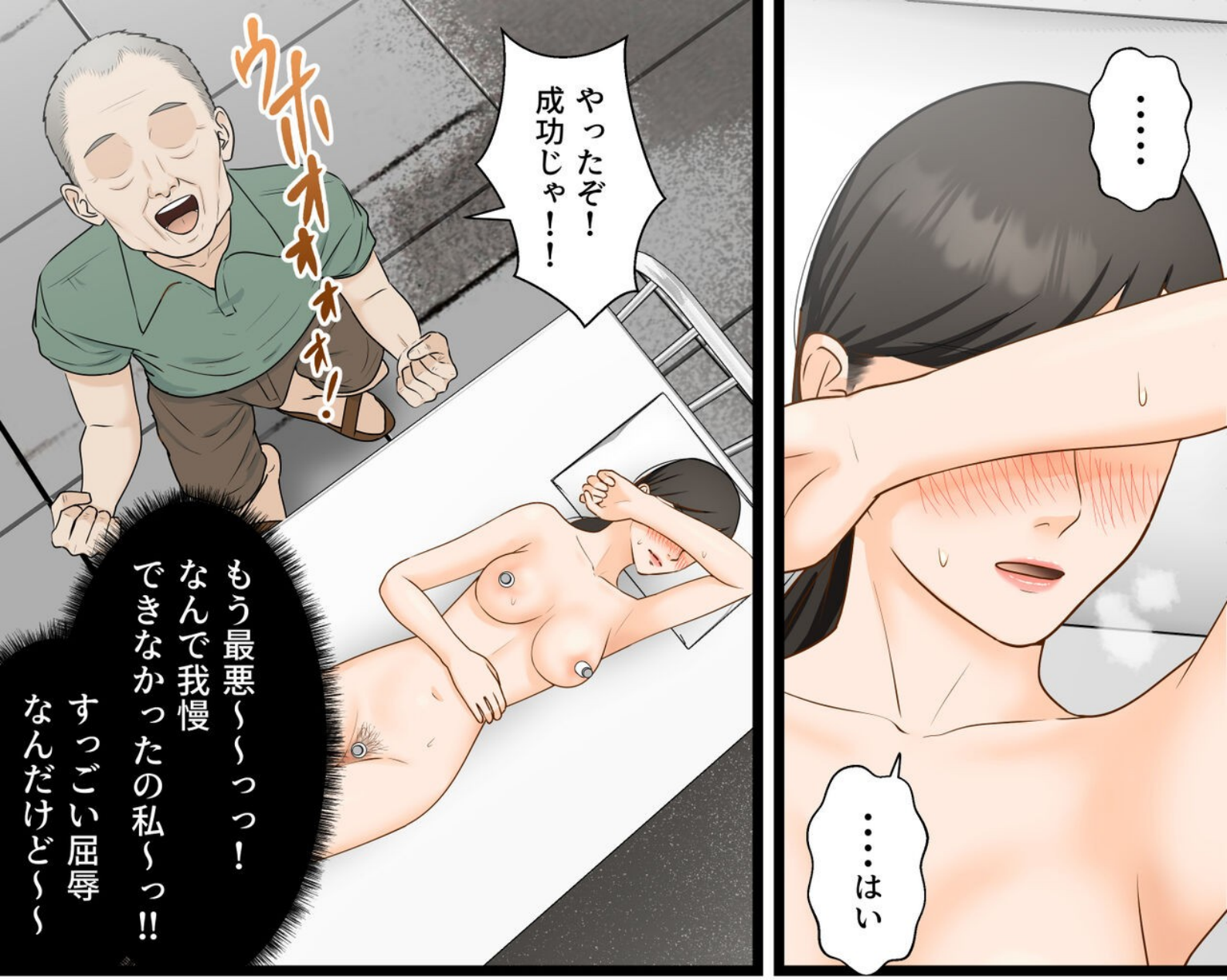

は!?
ただ、
実は振動レベルを
変えられるんじゃが
カチッ
あまり
感じないようなら
レベルを上げて
みようかのう
えっ
ちょっ・・・
これが
MAXじゃ
ブブブ


まって!!
やばいっ!!
ヴヴヴ

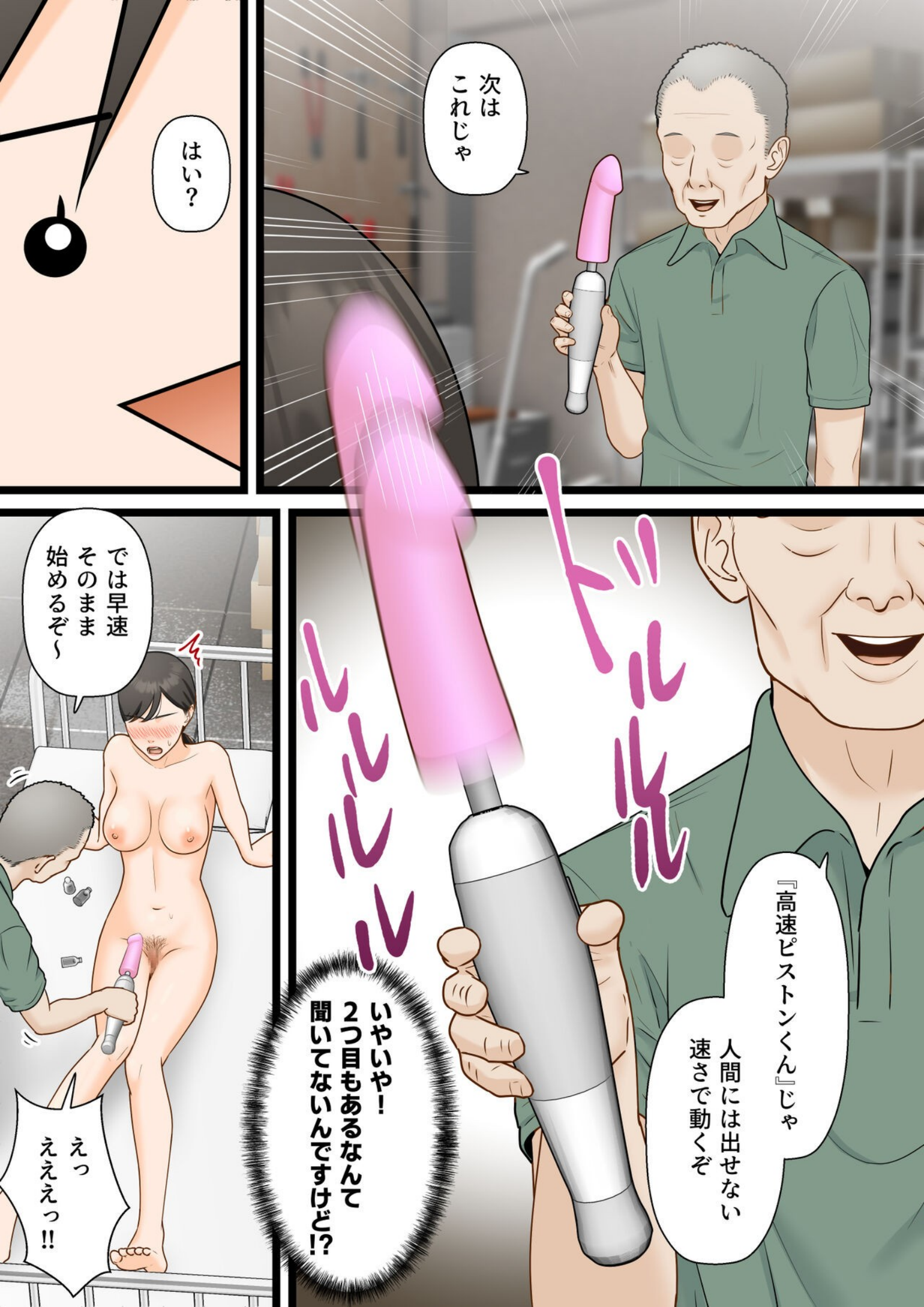

どうじゃ？
気持ちええか？
いや・・・っ
全・・然・・・・っ
はっ
息が荒くなっとるな
本当は気持ち
ええんじゃろ？お？
・・・・
はぁ
見て分かるなら
聞いてくるな～～！

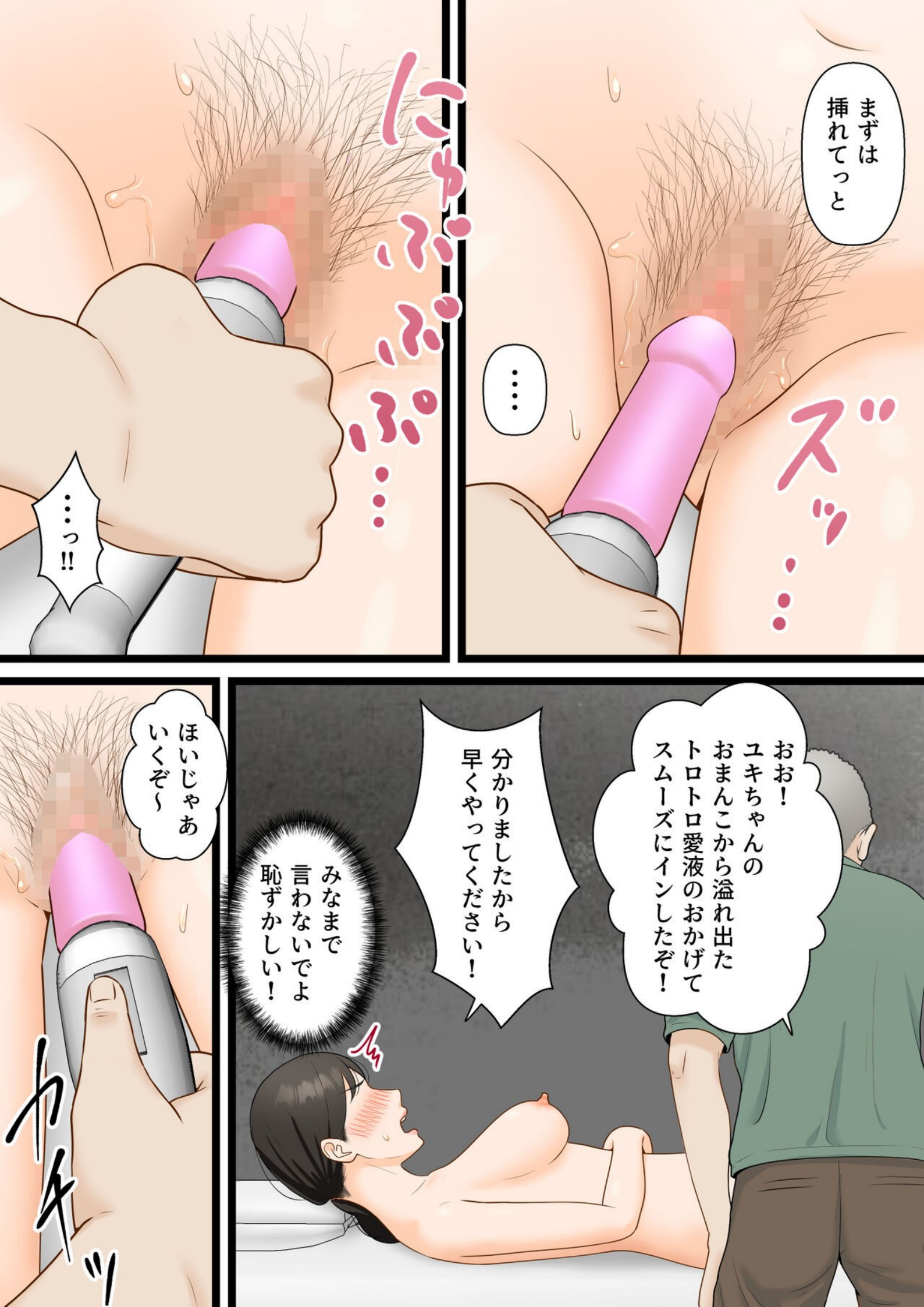

あ～最悪
もうイっちゃいそう・・・
はぁ
こんな
おもちゃで～～・・・
ビクッ
ダメだ～～
耐えられない～～!!


ビクッ!!
ビクッ
ビクッ
ガクガクガクガク
カメ
ま、まさか
ユキちゃん・・・
プル
プル
イッたのかい・・・


……
……はい
やったぞ！
成功じゃ！！
ウホオオオオ！
もう最悪～～っっ！
なんで我慢
できなかったの私～っ!!
すっごい屈辱
なんだけど～～


はあ…
でもこれで拷問も終わりね…
今日の出来事はなかったことにしよう…
ガッ
あの…
今日のこと
くれぐれも他人には…
というわけで
ユキちゃん


はい？
次は
これじゃ
『高速ピストンくん』じゃ
人間には出せない
速さで動くぞ
ドルルルル
いやいや！
2つ目もあるなんて
聞いてないんですけど!?
では早速
そのまま
始めるぞ～
えっ
えええっ!!


まずは
挿れてっと
……
ズッ…
にゅぷぷぷ…
…っ!!
おお!
ユキちゃんの
おまんこから溢れ出た
トロトロ愛液のおかげて
スムーズにインしたぞ!
分かりましたから
早くやってください!
みなまで
言わないでよ
恥ずかしい!
ほいじゃあ
いくぞ~
カチッ

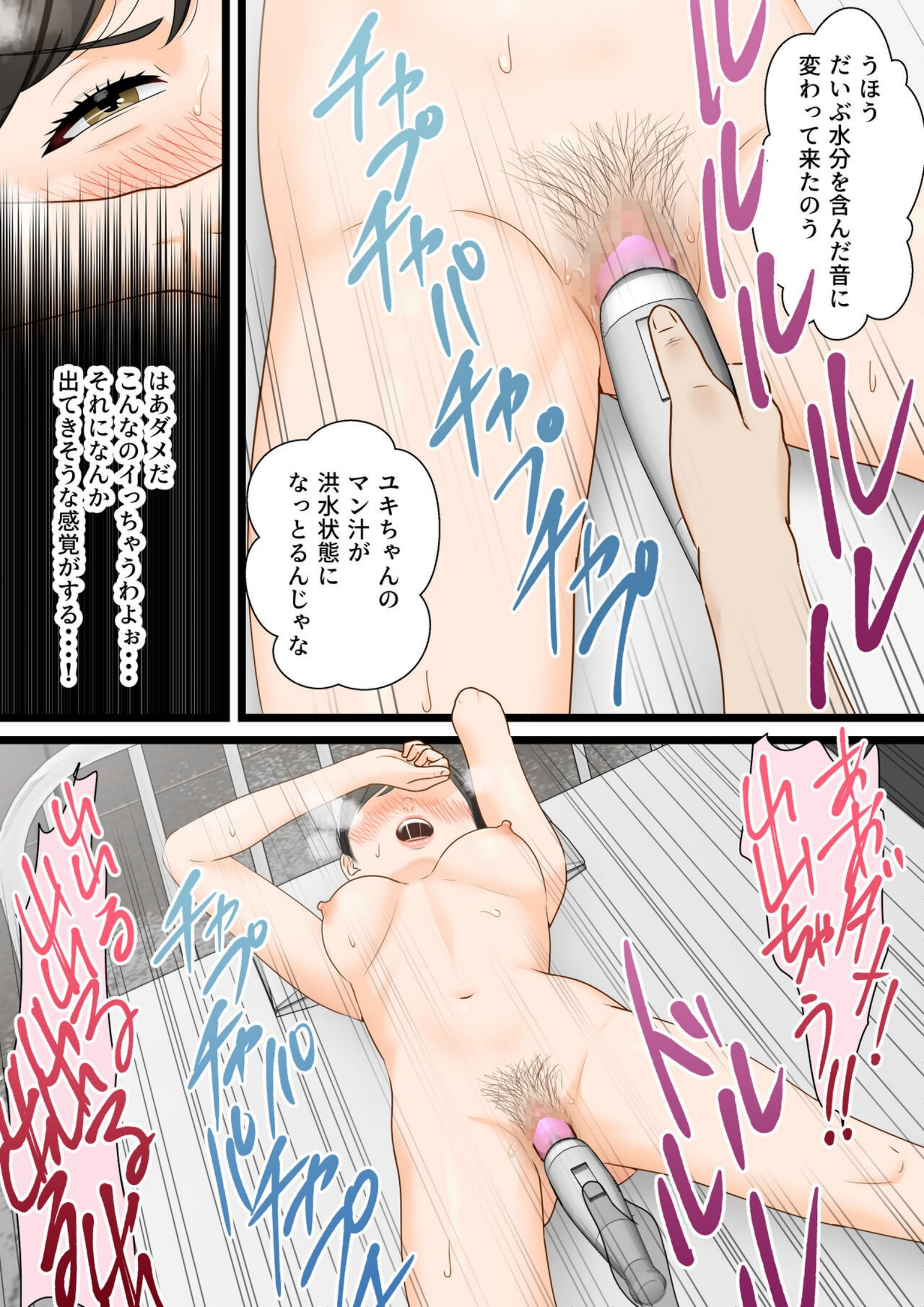

ブルルル

絶対痛いと思ったのに
棒のサイズ感が絶妙で
突きが深すぎない・・・

速度も巧くて・・・
痛みを感じる一歩手前の
最大限気持ちいいラインで
突きまくってくる

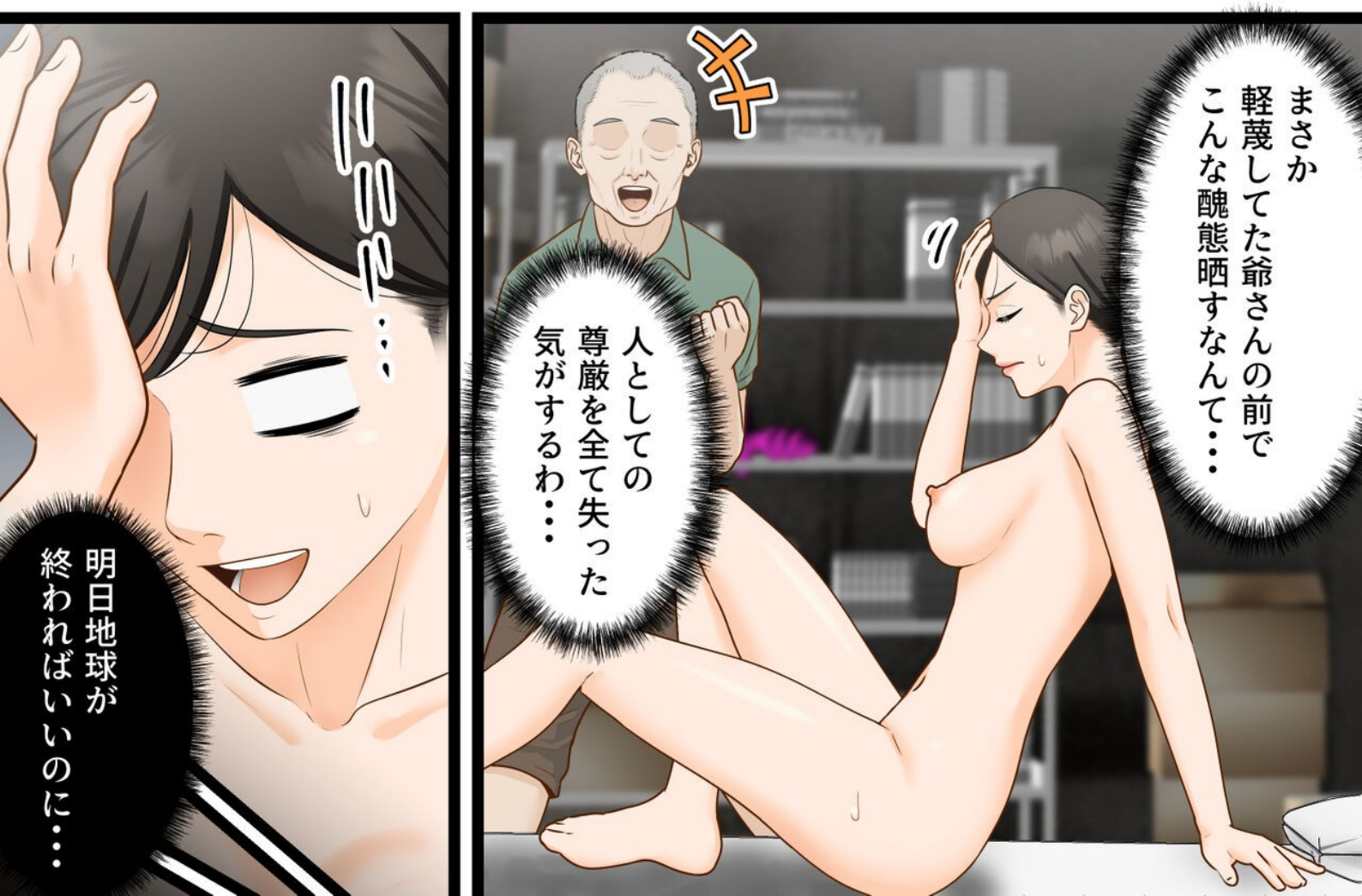





うほう
だいぶ水分を含んだ音に
変わって来たのう
ルルルルルル
チャプチャプチャプ
ユキちゃんの
マン汁が
洪水状態に
なっとるんじゃな
はあダメだ
こんなのイっちゃうわよぉ…
それになんか
出てきそうな感覚がする…！
ドルルルルル
チャプチャプチャプ
あぁダメ！
出ちゃう!!
出ちゃう
出ちゃう


オホおう！
ズンズン
んはぁ
ガク
ガク
ガク
ハァ
ハァ
ハァ


やったぞ！
潮を吹いたぞ！
うそ・・・この水分
私の中から出たの？
ガバッ
ビッショリ・・・
これが
潮ってやつ・・・？
こんなの初めて・・・
必死だったから
何が起きたのか
よく分からない・・・

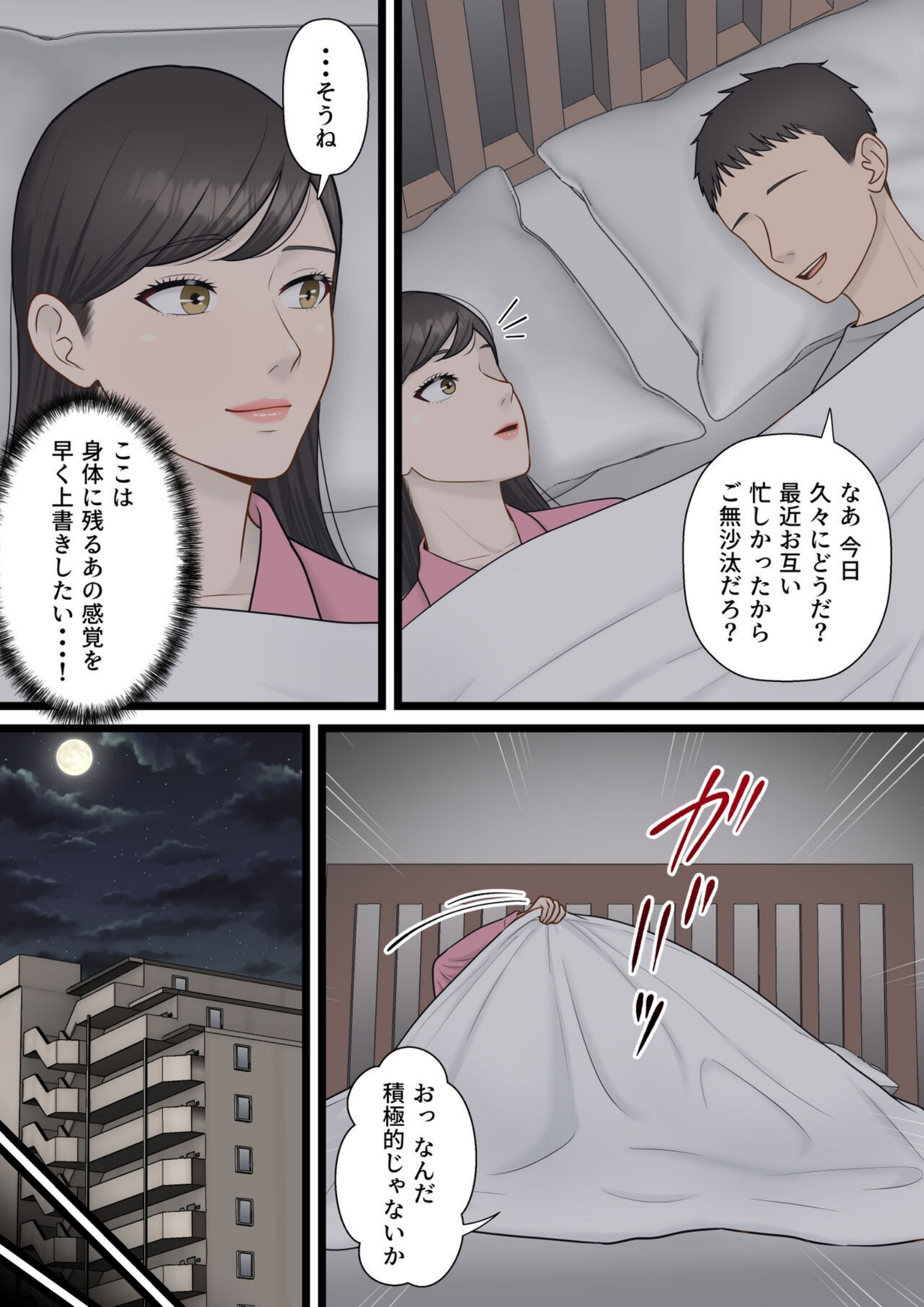

まさか
軽蔑してた爺さんの前で
こんな醜態晒すなんて・・・
人としての
尊厳を全て失った
気がするわ・・・
ニヤ
ニヤニヤ・・・
明日地球が
終わればいいのに・・・

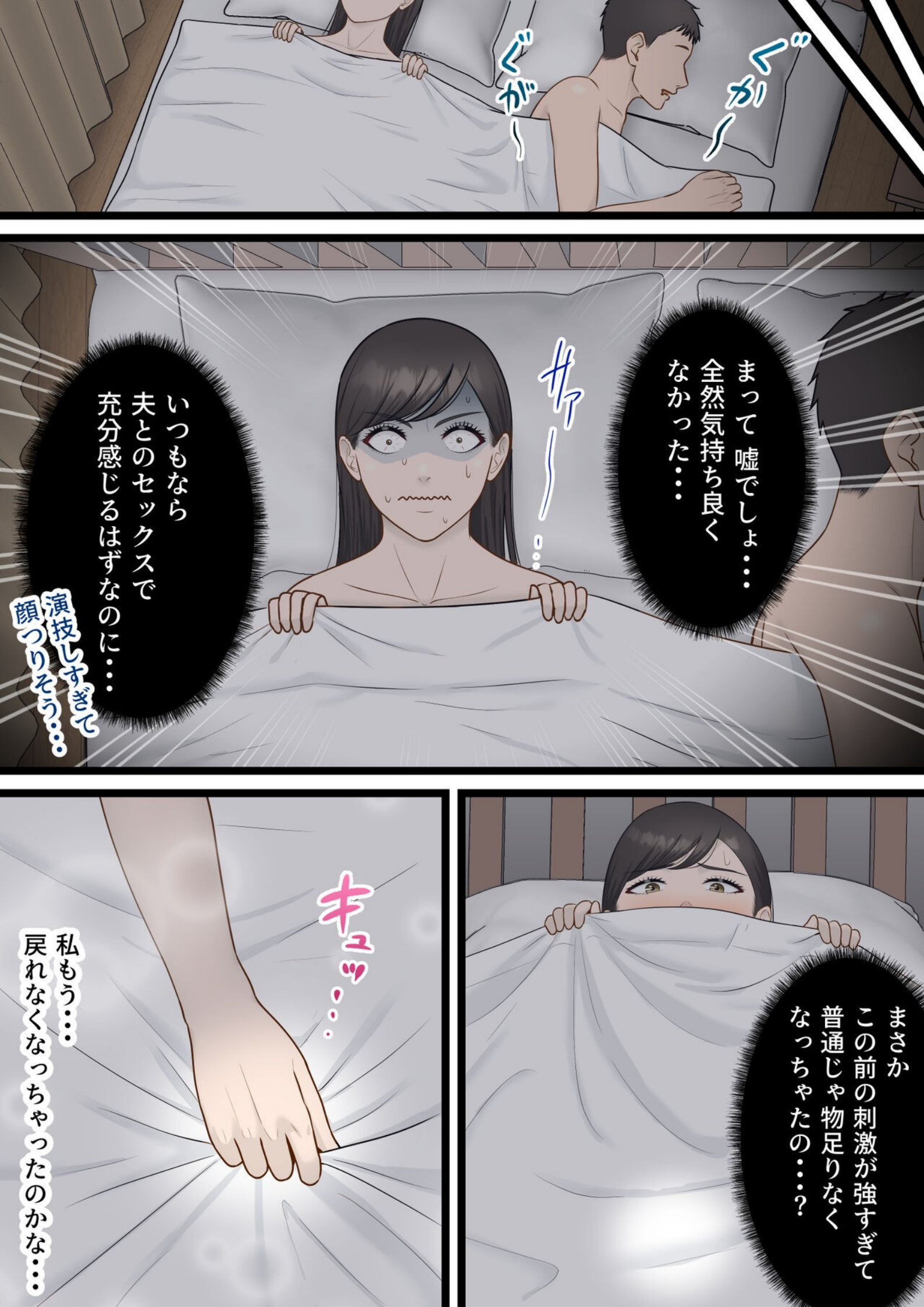

ああ～もう…
この前の出来事が
衝撃的すぎて
忘れられない…
記憶から
消し去りたいのに～…



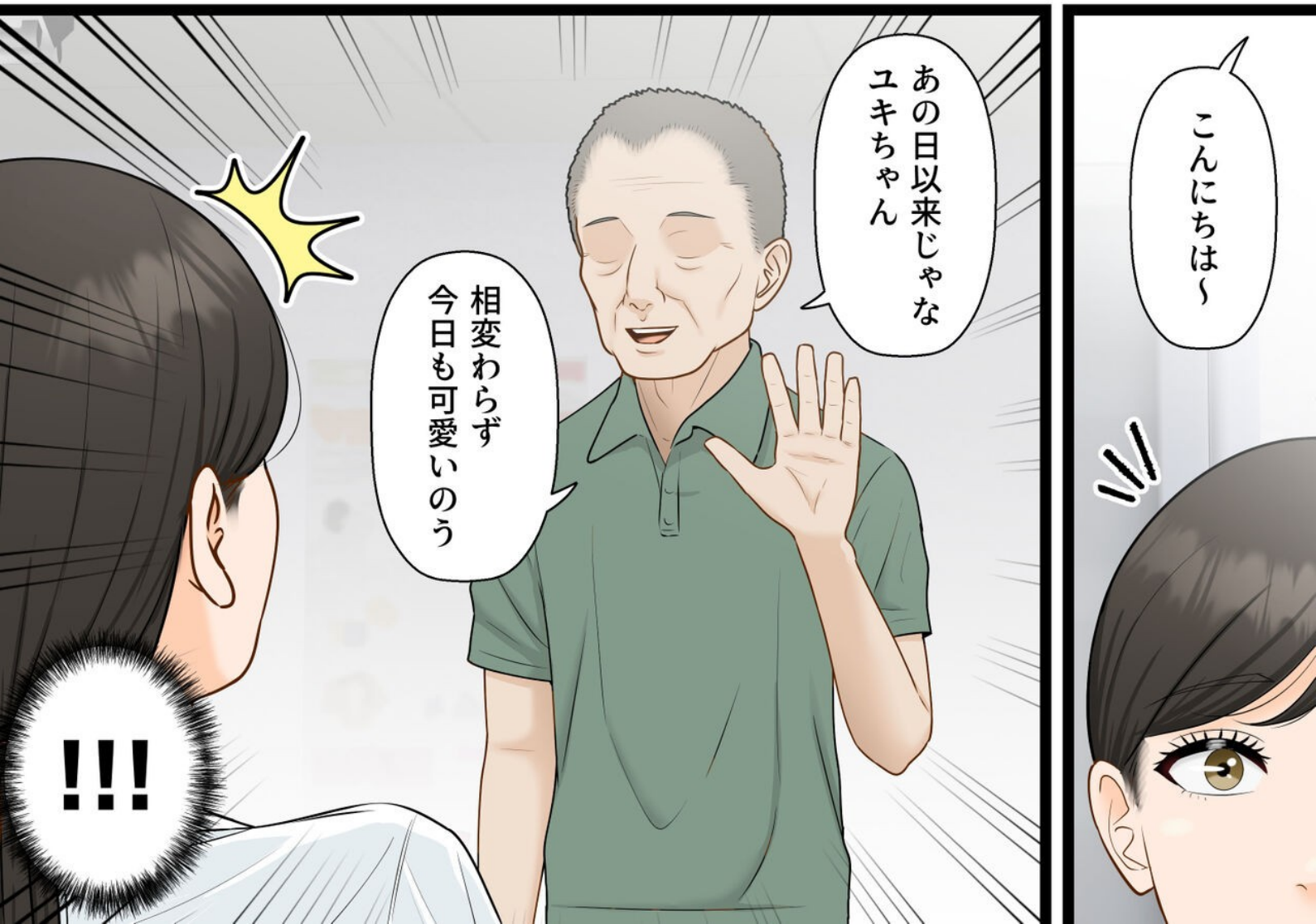

子どもを
寝かしてきたよ
ガチャ…
えっ あぁ
ありがとう
ビクッ

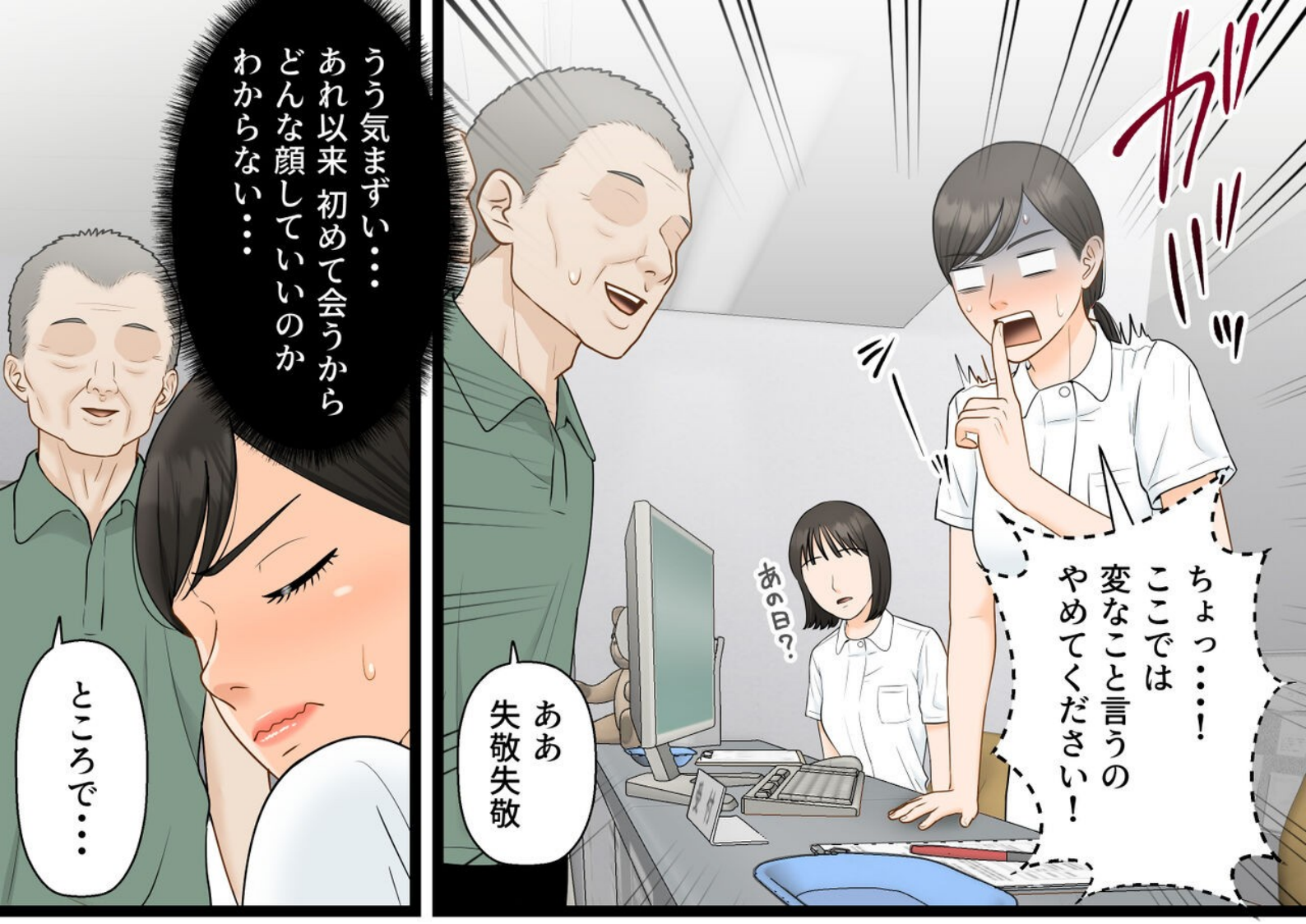

ううっ…
家族もいるのに
あんなことを…
背徳感がすごい…

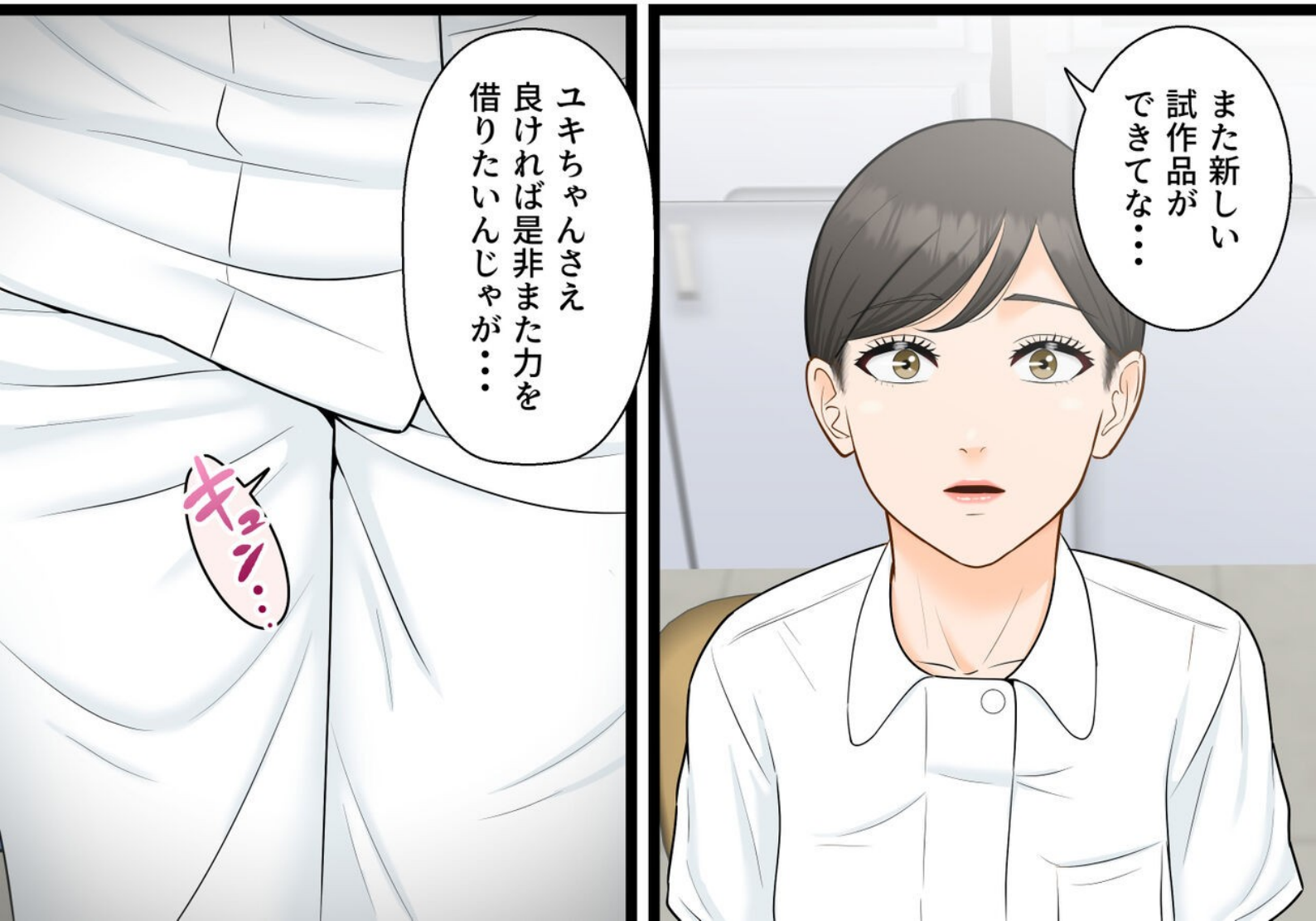

なあ 今日
久々にどうだ？
最近お互い
忙しかったから
ご無沙汰だろ？
・・・そうね
ここは
身体に残るあの感覚を
早く上書きしたい・・・！
ガバッ
おっ なんだ
積極的じゃないか

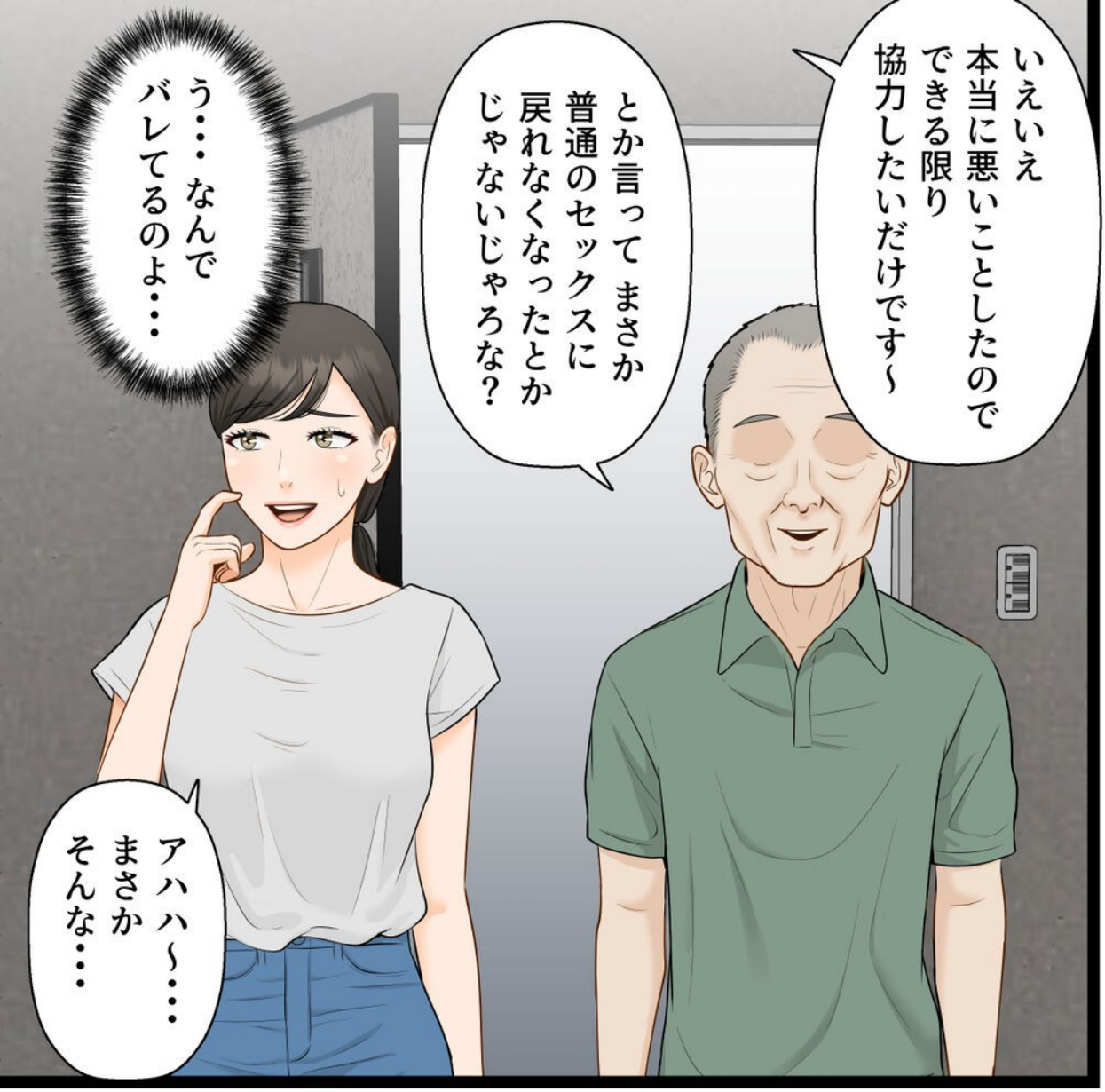

ぐが〜
ぐが〜
まって 嘘でしょ・・・
全然気持ち良く
なかった・・・
ハァ〜・・・
いつもなら
夫とのセックスで
充分感じるはずなのに・・・
演技しすぎて
顔つりそう・・・
まさか
この前の刺激が強すぎて
普通じゃ物足りなく
なっちゃったの・・・？
キュッ・・・
私もう・・・
戻れなくなっちゃったのかな・・・

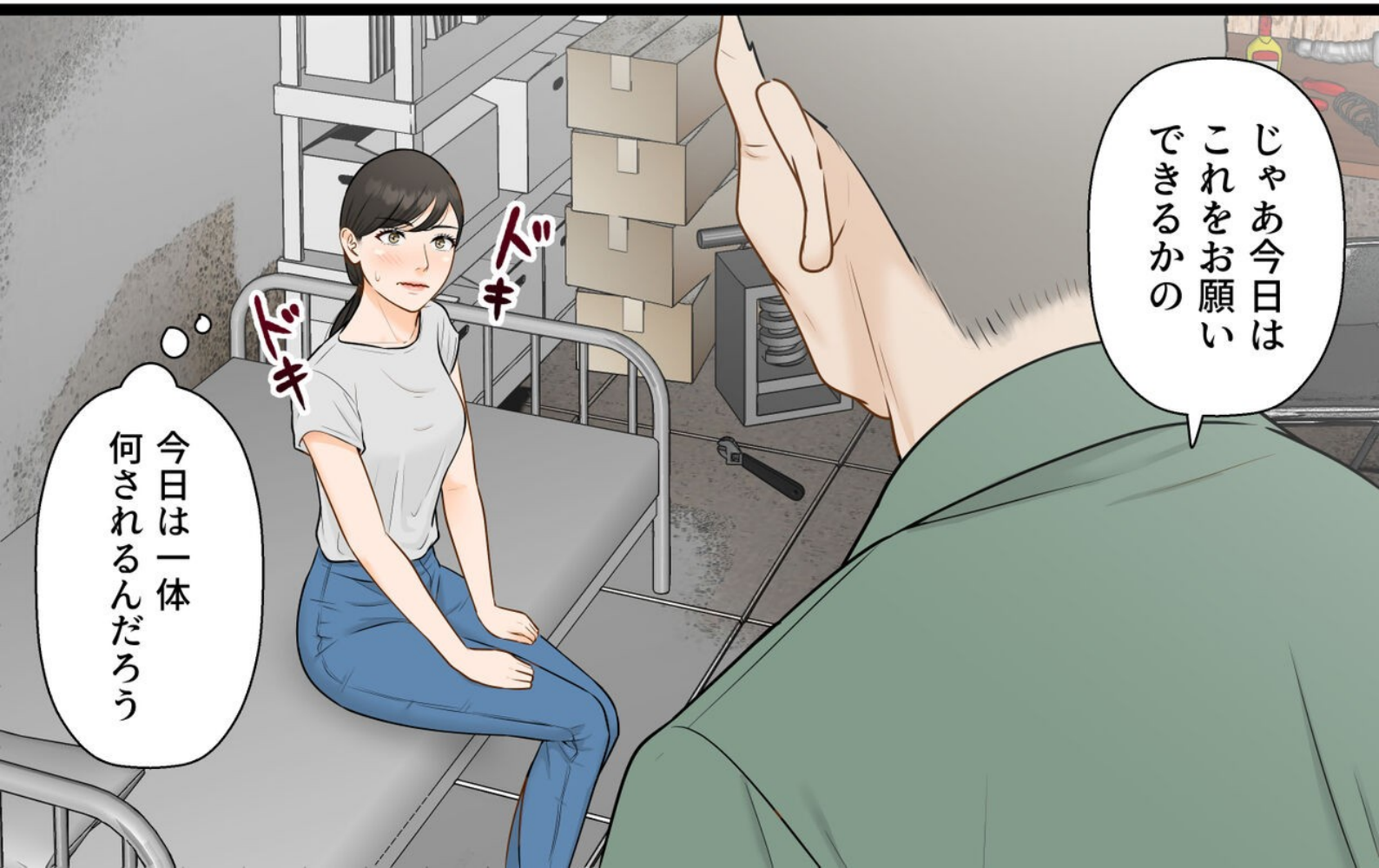

ううう・・・
この前のこと
相談できる相手が
いないのよねえ・・・

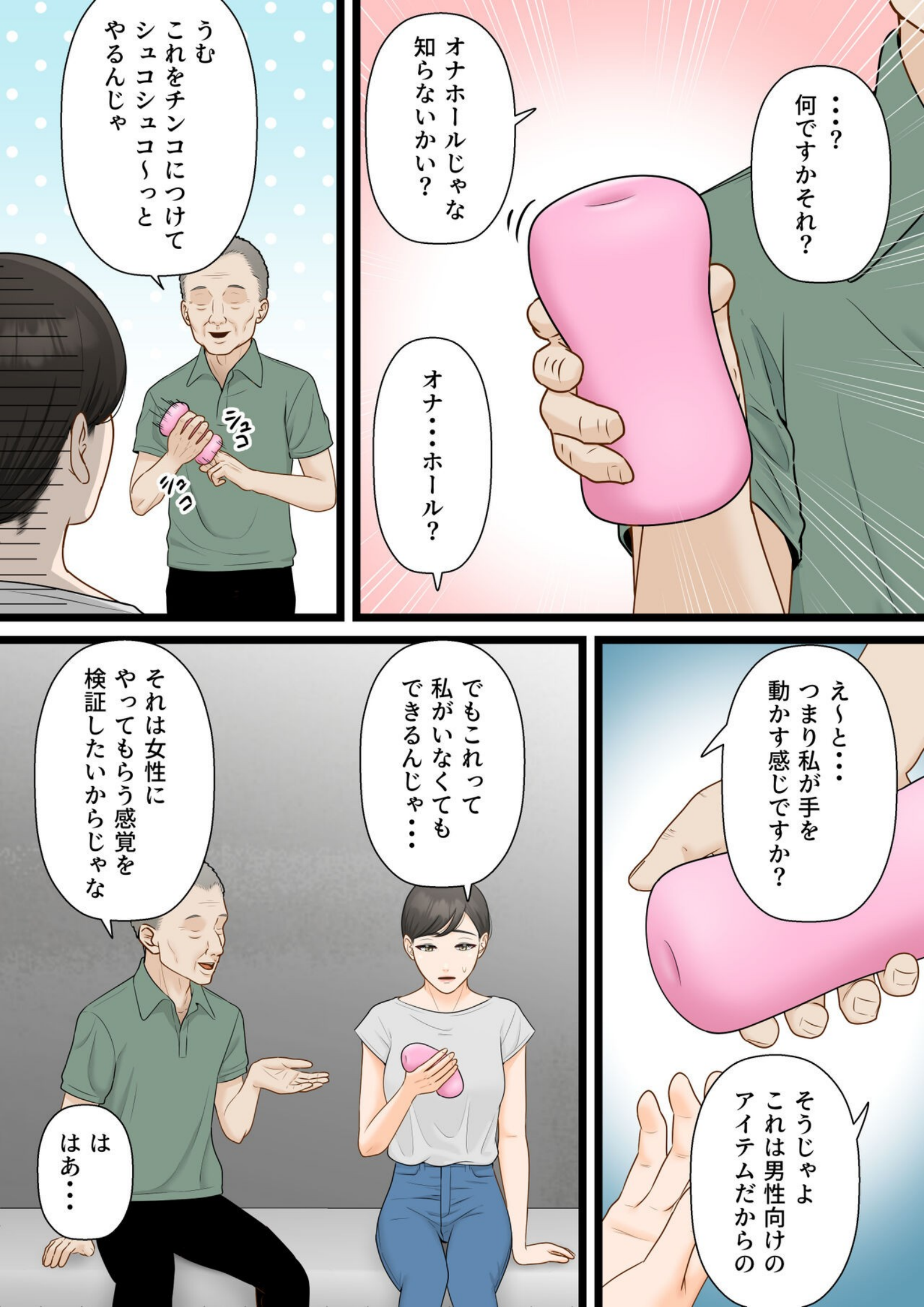

こんにちは～
あの日以来じゃな
ユキちゃん
相変わらず
今日も可愛いのう
!!!


ちょっ・・・！
ここでは
変なこと言うの
やめてください！
あの日？
ああ
失敬失敬
ところで・・・
うう気まずい・・・
あれ以来 初めて会うから
どんな顔していいのか
わからない・・・


また新しい
試作品が
できてな・・・
ユキちゃんさえ
良ければ是非また力を
借りたいんじゃが・・・
キュン・・


何度も
来てもらって
悪いのう
いえいえ
本当に悪いことしたので
できる限り
協力したいだけです～
とか言って まさか
普通のセックスに
戻れなくなったとか
じゃないじゃろな？
う・・・ なんで
バレてるのよ・・・
アハハ～・・・
まさか
そんな・・・


じゃあ今日は
これをお願い
できるかの
ドキ
ドキ
今日は一体
何されるんだろう

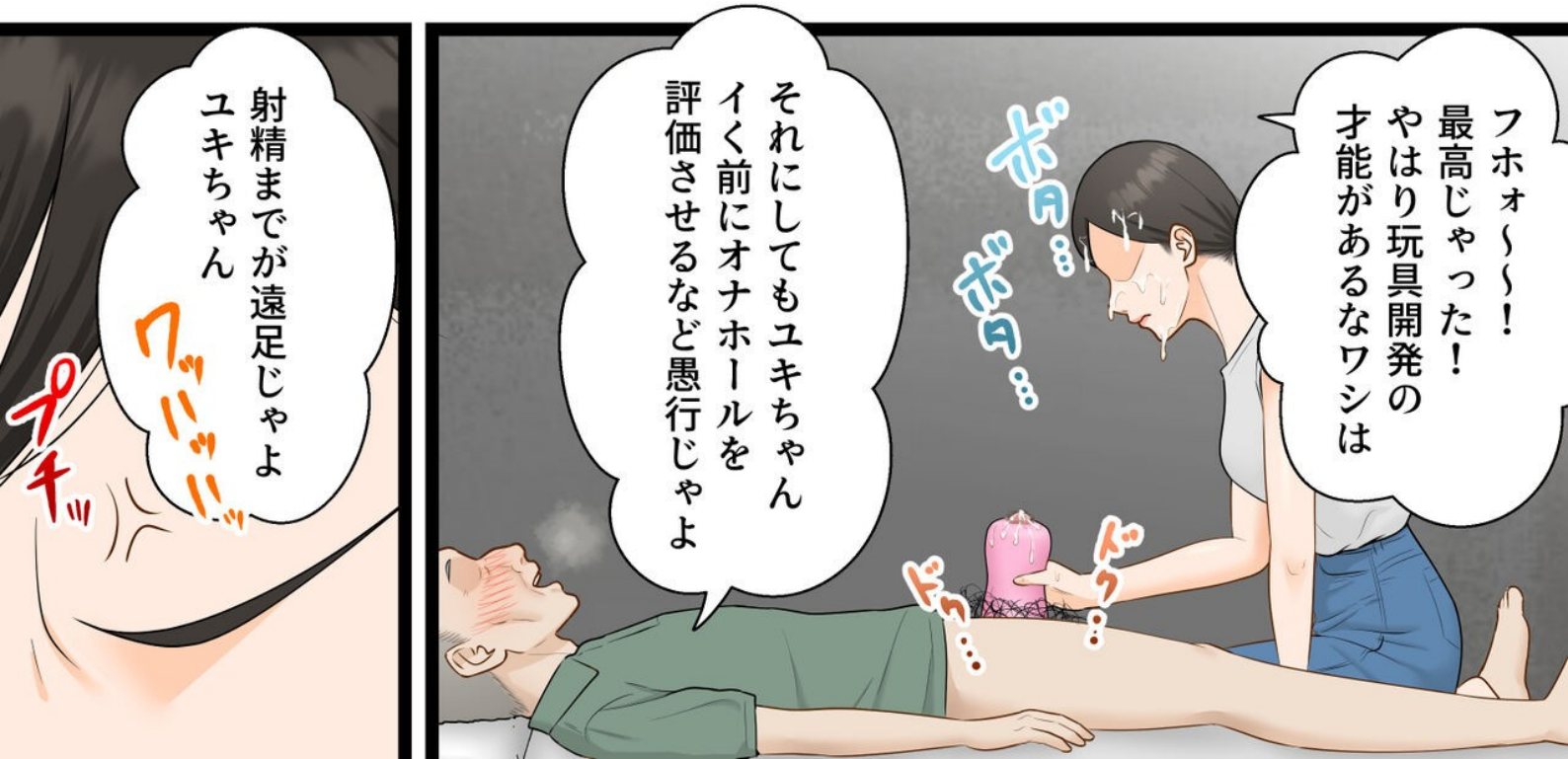

・・・？
何ですかそれ？
オナホールじゃな
知らないかい？
オナ・・・ホール？
うむ
これをチンコにつけて
シュコシュコ～っと
やるんじゃ
シュコ
シュコ
え～と・・・
つまり私が手を
動かす感じですか？
そうじゃよ
これは男性向けの
アイテムだからの
でもこれって
私がいなくても
できるんじゃ・・・
それは女性に
やってもらう感覚を
検証したいからじゃな
はあ・・・


おふう！
同じホールでも
自力で動かすのと
可愛い女性に
動かしてもらうのとでは
やはり全然違うのぅ～
くちょ
ぐぽ
ぬちょ
ちょ
自分は寝てるだけで
穴の方が勝手に
動いてくれるこの感じ・・・
まるで騎乗位じゃのこれは
しかもお相手は
いつも世話になっている
可愛らしい看護婦の
ユキちゃんときた！
なんという贅沢か！
くっちょ
ぐっちょ
ぬっちょ
にゅっちょ
これはユキちゃんに
騎乗位をされていると
言ってもいいじゃろうな！
違うでしょ！
本当よく喋るわね
この変態ジジイ！

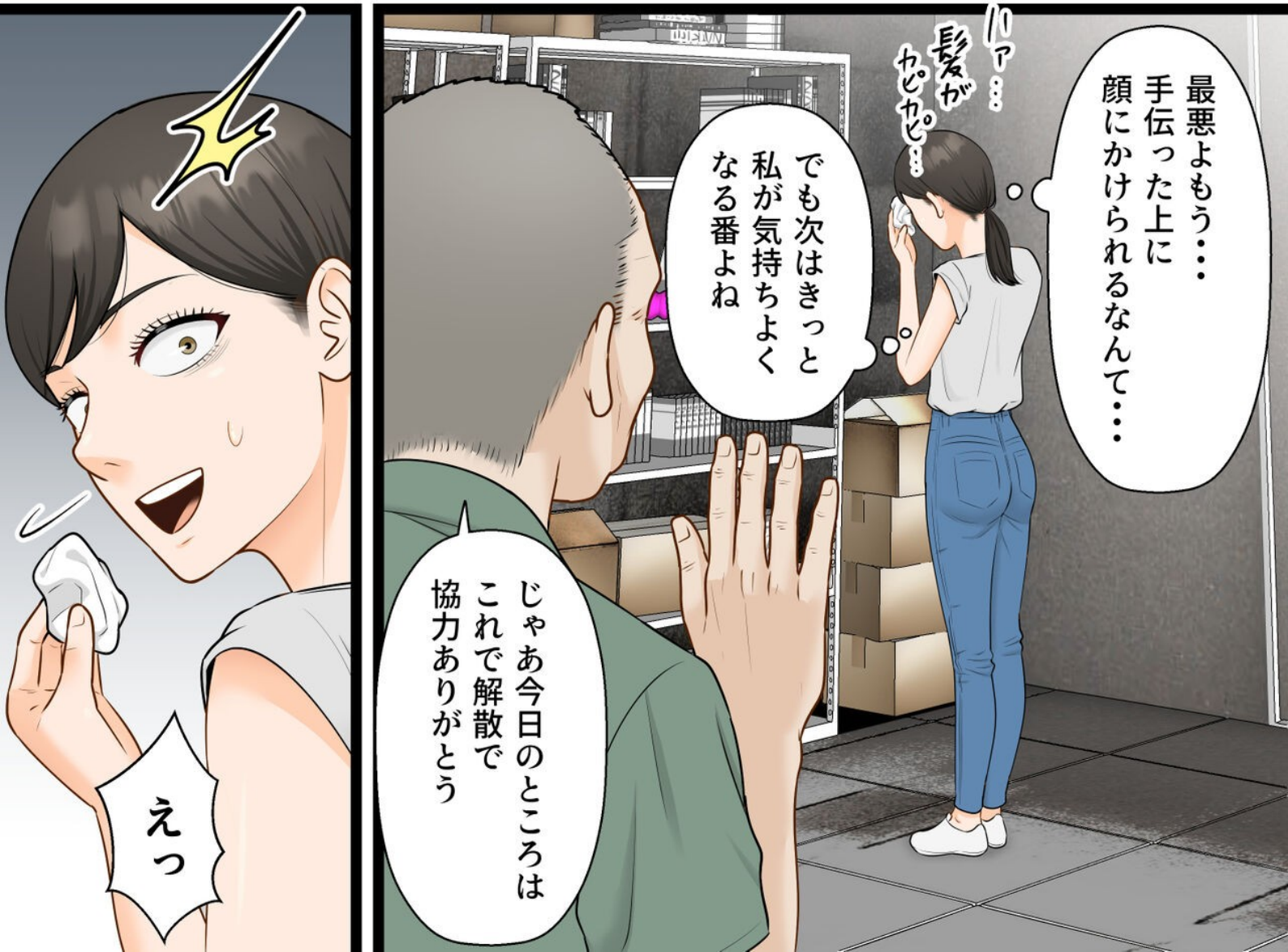

ていうか
私何しに来たんだろ…
これじゃあまるで
性処理を手伝いに来た
ヘルパーさんじゃない…
…本当は
私が気持ちよくなりたくて
ここまで来たってのに…
ぬっちょ
にゅっちょ
くっちょ
ぐっちょ
ぬっちゃ
にゅっちゃ
くっちゃ

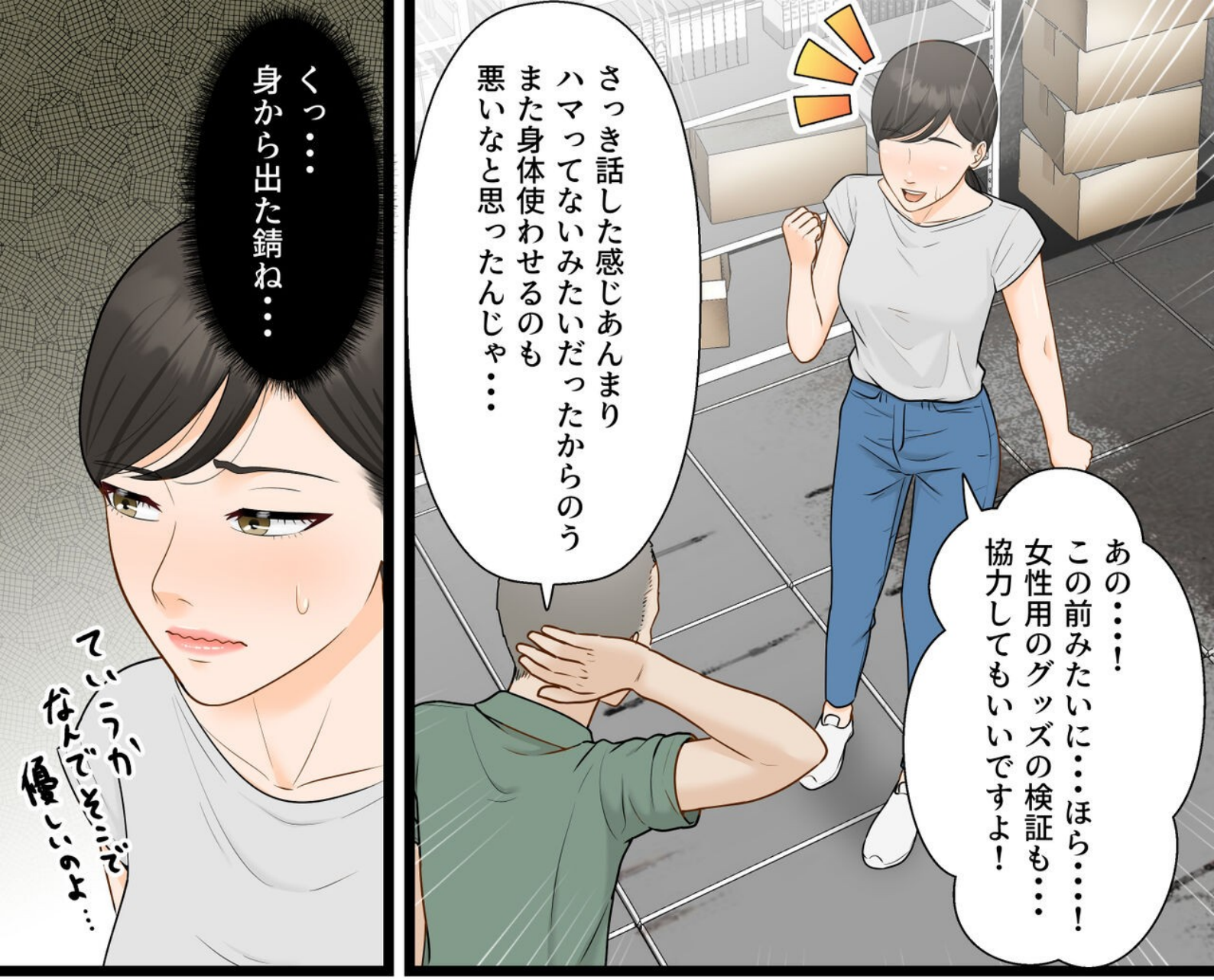

はあ…
この虚無の時間
ツラすぎるわ…
せめて早く
終わって欲しい…
どうですか？
そろそろ
検証できたんじゃ…
？
ぬっちょ
ぐっちょ
くっちょ
にゅっちゃ
ぬっちゃ
ブルッ


キャアッ
ビュビュッ


フホォ～～！
最高じゃった！
やはり玩具開発の
才能があるなワシは
ボヮ…
ボヮ…
それにしてもユキちゃん
イく前にオナホールを
評価させるなど愚行じゃよ
ぐっ…
ドゥ…
射精までが遠足じゃよ
ユキちゃん
ワッハッハ
プチッ

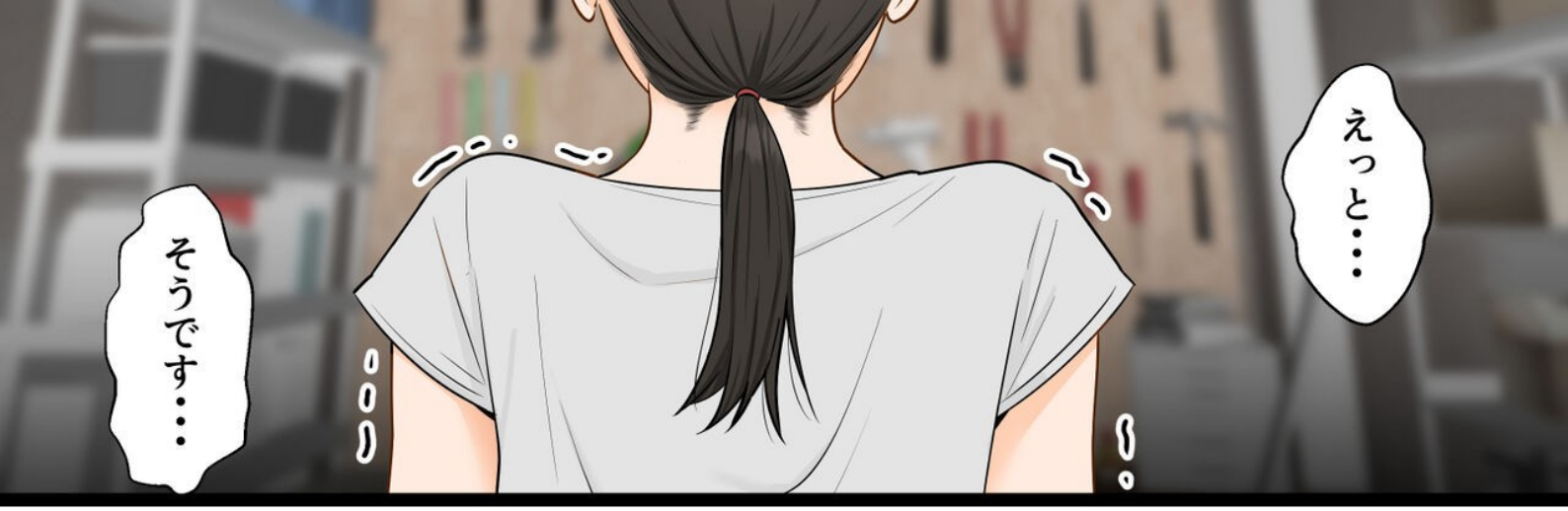

それでも
出す前に一言あっても
よかったでしょ！
髪が汚れちゃったじゃない！
ガァ
すまんすまん
ユキちゃんの動かし方が
絶妙にうまかったもんで
つい浸ってしまっていたよ
～～～～ッッ!!


最悪よもう・・・
手伝った上に
顔にかけられるなんて・・・
髪が
カピカピ…
ーァ…
でも次はきっと
私が気持ちよく
なる番よね
じゃあ今日のところは
これで解散で
協力ありがとう
えっ


あの…！
この前みたいに…ほら…！
女性用のグッズの検証も…
協力してもいいですよ！
さっき話した感じあんまり
ハマってないみたいだったからのう
また身体使わせるのも
悪いなと思ったんじゃ…
くっ…
身から出た錆ね…
ていうか
なんでそこで
優しいのよ…


まって
このまま帰ったら
顔にかけられ損じゃない
ポリ
ポリ
でも強がった手前
言い出しづらいし…
まさか
ユキちゃん…


本当は自分が
気持ち良くなりたくて来たのに
今更言い出しづらい感じかい？
へっ!?
プルプル
そんなわけないか～
この人わざと意地悪してる??
・・・もういいや
つまらないプライドは捨てよう・・・
もう恥ずかしい部分は全部見られちゃったんだし・・・
あの・・・


えっと・・・
そうです・・・

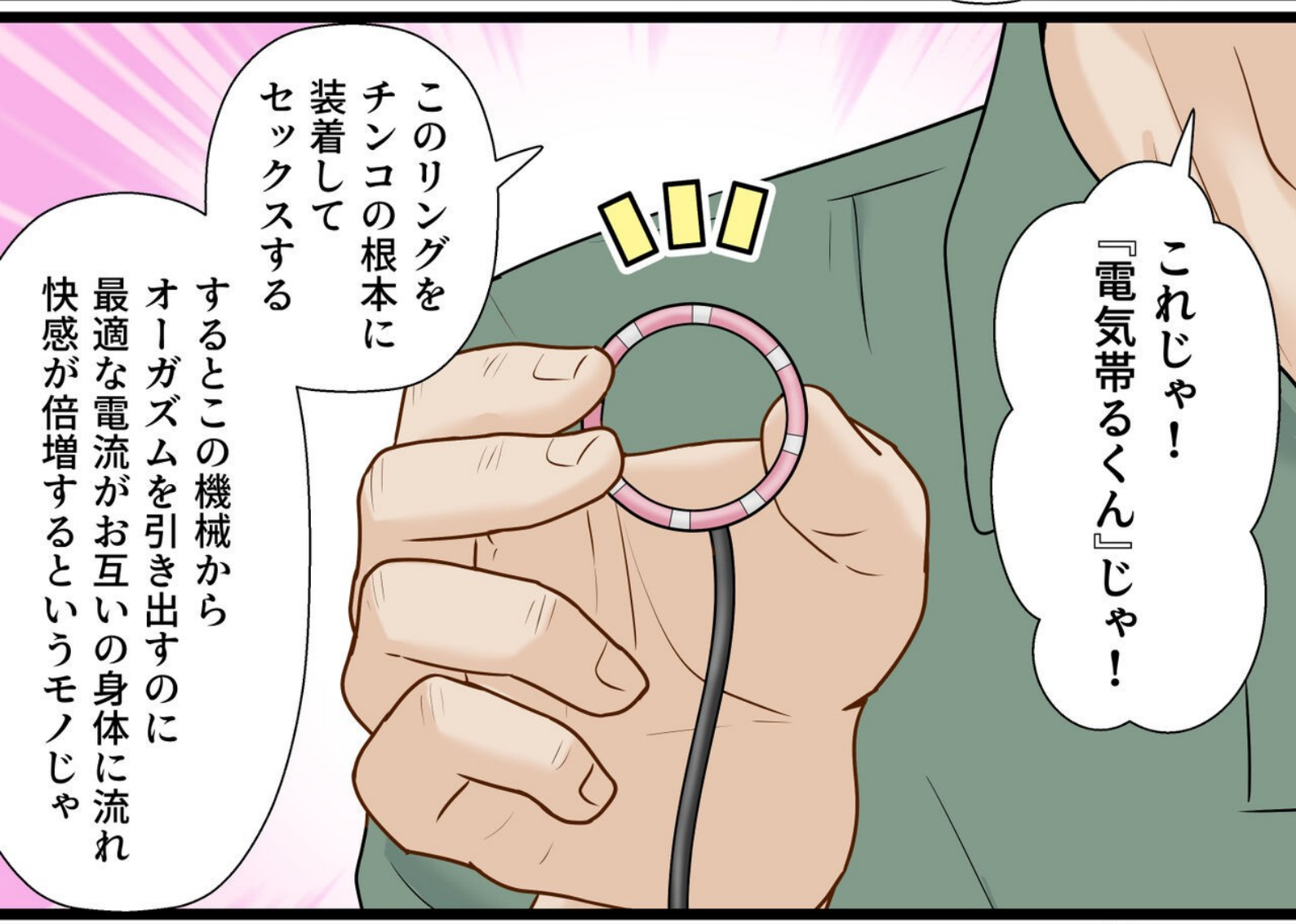

私も・・・
私も気持ちよくなりたいです・・・

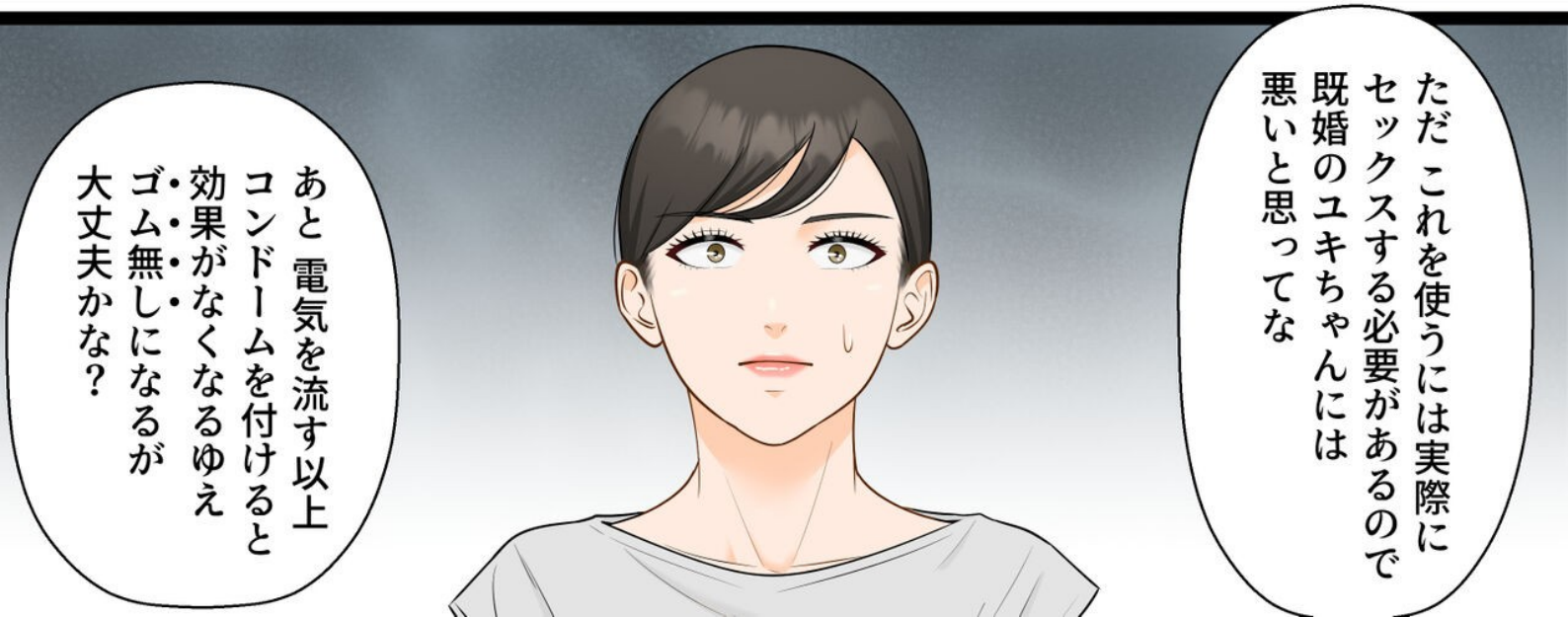

なっ…
なんと！
やっとユキちゃんにも
アダルトグッズの素晴らしさを
分かってもらえたか!!
ガシッ
なんじゃ
何をして欲しいんじゃ？
言ってみい！お？
このクソ
ジジイ～～～


えっと…その…
この前の…
高速…ピストンくん…
とか…？
ポリポリ
高速ピストンくん？
そんなのあったかいな？
あんたが
名付けたんでしょ！


ほらあれですよ・・・
おちん・・・アレの形した棒が・・・
すごく速く動くやつ・・・
何を説明
してんのよ私は～！
ああ
あれは壊れたんじゃ
ハア!?
言わせといて
この!!
まあ代わりと
言っては
なんじゃが・・・
もっとすごいのが
あるぞ・・・
っ!!


ただこれは
ちと刺激が
強すぎるかも
しれんからなあ
出し渋って
おったんじゃ・・・
カサ
ゴソ
えっと・・・
一体どんな・・・


これじゃ！
『電気帯るくん』じゃ！
このリングを
チンコの根本に
装着して
セックスする
するとこの機械から
オーガズムを引き出すのに
最適な電流がお互いの身体に流れ
快感が倍増するというモノじゃ


ただ これを使うには実際に
セックスする必要があるので
既婚のユキちゃんには
悪いと思ってな
あと 電気を流す以上
コンドームを付けると
効果がなくなるゆえ
ゴム無しになるが
大丈夫かな？


…
電気って聞くとちょっと怖いけど…
これまで試したこの人の道具は
どれもものすごく気持ち良かった…
キュッ…
正直この人なら…
不感症になりかけの私でも
また驚かせてくれる気がする…
でもセックスって…
完全に不倫になっちゃう…
…いや違うわ
これはそもそも償いのためよ
私がやりたくて
やるわけじゃないのよ…
生でやるのも…
外に出してもらえば
大丈夫よね…
それに何より…
もう引き返せないくらい
アソコが期待しちゃってる…
ヒクッ…


じゃあ
ユキちゃん
挿れるよお・・・
ズズ
ズププ…
オホゥッ
入ったあ！！
ヌルヌルのぷにぷにで
たまらんのう！！
う・・・
さっき握った時から
思ってたけど・・・
この人やっぱり
おっきいわね・・・
それでは
スイッチ
入れるぞ～
電流オン！
カチッ


オホオ!!
あああん
ビリビリ
最高じゃ！
わし今感電しとるぞ！
ビリビリゆうとるわい！
ああ…
なんで…


最初に出会ってから
何年経ったかしら
ただの看護師と
常連患者さんの
どこにでもある
関係だった


明るくて
気さくな人
だったけど
余計な
セクハラ発言も多くて
毎回あしらいながら
業務をこなし続けてた

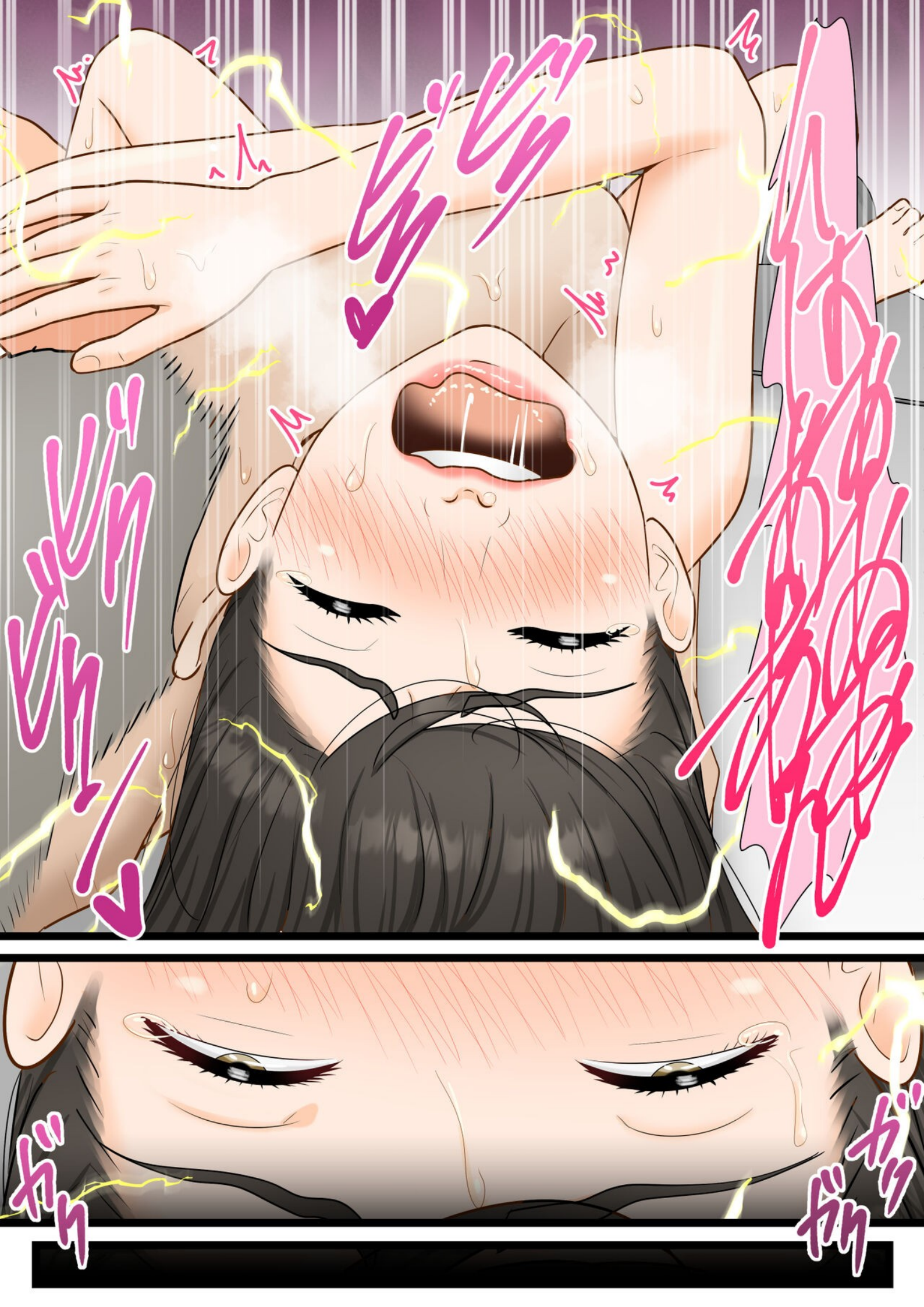

正直ずっと
嫌いだった…
裏では悪口を
散々言った…
きっと
一生独身だろうとか
言いたい放題
言ってた…

それなのに――


どうしてこんなことに・・・
ぁああ！
またイッぢゃう!!
イグイグ!!
っっ・・・!!
んんん
イってるぅ・・・!
あっ
そこ好きぃ・・・!
やばいまた
イギぞぉ・・・!


ああ…
もう何十回イったのかしら
意味わかんないくらい
イキまくってる…
正直
ここまでスゴイとは
思わなかった…
夢みたいに気持ちいい…
こんなものが世の中にあったなんて…


ナカから伝わる
電流のせいで
神経が敏感になって
感度が倍増しちゃってる
膣に全神経を
集中させられて
おちんちんの形まで
くっきりと分かる・・・！
ビリ
ビリ
ズン
ズン
ビリ
もう頭ボーッとして
難しいこと考えられない
今は
おちんちんのことしか
考えられない！
バン
バン
バン
ああ・・・まだ・・・
バン
バン
バン
イグ
イグ
イグ


ビビビ
ビビビ
ガガガ
ガガガ


正直もう
何が何だかわからない
電気に脳みそを犯されたのか
まともに思考ができない
それでも本能で
勝手に腰が動いちゃってる
考えずにただ腰を振り続けるだけの
セックスマシーンになっちゃってる・・・
ズッチャ
ん♥
あっ♥
グッチャ
ズン♥


目の前の快楽が大きすぎて
もう日常生活が
遠いことのように感じる
もっともっと気持ちよくなりたい
少しでも長くこの快楽に浸り続けていたい
ズッパ
んぐっ
んお♥
ズン♥
ボっ♥
ズチャ♥


どうじゃ
ワシの発明は
最高じゃろ！
ガシッ
ズッバ♥
ドッヤ♥
あなた最高よ！
天才発明家だわ!!
しかしユキちゃん！
その勢いで動かされると
ワシはすぐイってしまうぞ!!
ズチャ♥
ドッヤ
ドッヒ♥
ドッヤ
激しい腰振りと
科学の力も相まって
もんのすんごい量を
出してしまうぞ!!


いいわ！頂戴！
天才の遺伝子
私に中にたくさん頂戴！
アツいザーメンで
ナカいっぱいにして～～！
ああ～～～～～！！
もうイクぞ～～～～！！！
ぶっかけ
パン
パン
パン
パン


はぁぁぁぁ


ごちそうさまでした～！
どうだ俺の作ったカレーうまかっただろ！
めっちゃうまい！
フフ そうだろ！俺はおかわりするぞ～
お？
ユキも相当食べたなお腹ぽっこりしてるぞ
えっやだそうかしら
FIN